

平成30年度

# 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

北九州市社会福祉協議会



# 目 次

事業の総括	1
事業実施概要	
基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう	3
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう	8
基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	13
組織体制の強化・常設委員会	17
事業別実施内容	
総務部関連	
会務運営	18
賛助会員の加入促進	20
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	20
民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業	20
広報紙の発行事業	21
寄贈品の提供事業	21
助成金の情報提供等事業	21
障害者就労支援施設への支援事業	21
収益事業	22
平成30年7月豪雨災害に関する支援活動	23
施設部関連	
ウエルとばた運営事業	24
地域福祉部関連	
住民による地域づくり事業	28
生活支援体制整備事業	37
地域生活支援活動推進事業	40
北九州市社会福祉大会	41
生活福祉資金	42
民間社会福祉事業従事者共済事業	43
各施設協議会等との連携	44
民生委員互助共励事業	47
生活困窮者自立相談支援事業	48
福祉人材バンク運営事業	52
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	56
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	57
介護サービス相談員派遣事業	58
認知症サポーターキャラバン事業	62
高齢者見守りサポーター派遣事業	64
高齢者地域交流支援通所事業	67
健康マイレージ事業	72
権利擁護・市民後見等関連	
地域福祉権利擁護事業	77
法人後見事業	82
社会貢献型市民後见人養成事業	84
ボランティア・市民活動等関連	
ボランティア振興事業	87

	社会福祉ボランティア大学校事業	99
北九州ネットワークに関連	北九州シニアネットワークアカデミー事業	103
	1 周望学舎事業	103
	2 穴生学舎・穴生ドーム事業	111
	3 地域活動情報支援センター	119
全部署共通	常設委員会	121

# 事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第五次計画「住民ふくしの元気プラン 2016～2020」に基づき、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指して、『みんなで福祉の風土を広げよう』、『住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう』、『一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう』の3つを基本目標として、さまざまな福祉課題の解決に取り組みました。

平成5年度から推進してきた、住民主体の地域福祉活動の要である「ふれあいネットワーク活動」においては、155の校(地)区社協が主体となり『見守り』、『助け合い』、『話し合い』の3つのしくみを基本活動として、「高齢者のサロン事業」、「次世代地域福祉活動者育成事業」、「小地域福祉活動計画づくり」などの推進を図るとともに、平成30年度から『地域共生社会』の実現に向けて、地域ニーズを地域で需給調整し解決するしくみとして、地域生活支援相談員を2校(地)区に配置し、要支援者、生活支援ニーズの把握、活動者の発掘を行い、53件の生活支援活動のマッチングを実施しました。

また、社会福祉法人の地域における公益的な取組の推進として、各種別社会福祉施設協議会等と連携して26校(地)区社協でのサロン活動及び連絡調整会議などへの参画を進め、ふれあいネットワーク活動の充実並びに地域力の強化・推進に取り組みました。

この他、平成30年7月豪雨災害において、北九州市内でも多数の被害が発生したことから、「災害ボランティア相談窓口」の開設や、市内で初めての臨時の災害ボランティアセンターの設置等を行い、延べ590人の災害ボランティアにより被災者支援活動を実施しました。

本会としても、この経験を今後の活動に活かすため、災害時のボランティア活動に必要な資機材の整備を進め、併せて、市内で災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的かつ効果的に行うことができるよう、地域活動者の参加のもと、若松区で「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施して被災者支援の技術の蓄積に努めました。

本市を取り巻く環境は、人口減少・高齢化の進展、福祉課題の多様化や緊縮する財政事情など、依然として厳しい状況にありますが、今後も多くの関係機関・団体と緊密に連携するとともに地域福祉活動の充実強化に努め、豊かな福祉社会の実現に向けて取り組んでまいります。

## 北九州市地域福祉活動第五次計画 「基本目標」と「実施項目」

### 基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

#### 【基本項目】

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

### 基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

#### 【基本項目】

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり
- 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
- 5 小地域福祉活動計画の推進

### 基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

#### 【基本項目】

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究、提言

### 組織体制の強化

### 常設委員会

# 事業実施概要

# 平成30年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

## 基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

住民一人ひとりが、同じ地域に暮らす人たちが抱える多様な生活・福祉課題を、地域の課題として共感し、お互いを思いやり支え合う活動が自然と広がっていくことが望めます。

そのため、私たちのまちに福祉の風土を広げ、福祉を身近なこととして感じてもらうための啓発活動や福祉教育の推進により、地域福祉への関心を高めていきます。

## 目標達成のための取り組み

### 1 広報・啓発の強化

#### (1) 地域福祉推進のための広報・啓発物の作成・活用

- ・テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 <全部署>
- ・市社協事業紹介リーフレットの活用 <全部署>
- ・広報紙の発行 <総務課・施設部・研修課・周望・穴生>
  - 「北九州市社協だより」・「ひと&ひと」各4回（172,000部）
  - 「ウェル新聞」12回
  - 「周望新聞」1回、「周望かわら版」2回
  - 「穴生学舎新聞」1回、「穴生学舎かわら版」2回
- ・ウェルとばたの福祉文化の拠点化 <施設部>
- ・校(地)区社協活動の先進事例集等の活用 <地域支援課>
- ・啓発物品（オリジナルポロシャツ・エプロン等）の販売（447枚） <地域支援課>
- ・北九州市社協だよりを活用した「企業の社会貢献活動」の紹介（4回） <活動推進課>
- ・ボランティア・市民活動センター啓発冊子の作成・活用 <活動推進課>
- ・社会福祉ボランティア大学校「研修事業のご案内」の作成 <研修課>
- ・短期講座の広報紙への掲載 <周望・穴生>

#### (2) インターネットを活用した地域福祉関連情報の収集・発信

- ・ホームページを活用した社協・福祉情報の提供（アクセス数：145,053件） <総務課>
- ・ホームページの内容分析とタイムリーな情報更新（アクセス検討会：3回開催） <総務課>
- ・ウェルとばたホームページ、Facebookを活用した情報発信 <施設部>



- ・校(地)区社協ホームページの充実 <地域支援課>
- ・「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、成年後見制度、法人後見事業、市民後見人支援事業の周知及び広報 <権利擁護・市民後見センター>
- ・周望学舎ブログ「周望の丘から」、穴生学舎ブログ「つれづれ日記」による情報発信(周望：14回、穴生：21回) <周望・穴生>
- ・インターネット(メール)経由での短期講座申込システムの活用 <周望・穴生>

### (3) 啓発イベント等の実施

- ・社会福祉大会の開催及び市民・ボランティア・企業等の参加促進(1回 496人) <全部署>
- ・社協活動イメージキャラクター「プチボザウルス」の活用促進(12回) <総務課>
- ・ウェルとばたにおける映画上映を通じた福祉課題の情報発信(1回 141人) <施設部>
- ・視察等の積極的な受け入れによる地域福祉活動拠点施設のPR(1回 14人) <施設部>
- ・市民ふれあいフェスティバルの開催(4,243人) <活動推進課>
- ・ボランティア週間の実施(10月20~28日) <活動推進課・研修課>
- ・大学祭・作品展による地域への情報発信(大学祭：周望1回・穴生1回、作品展：周望1回・穴生1回・合同1回) <周望・穴生>
- ・一日体験講座の開催(周望：2回、穴生：2回) <周望・穴生>
- ・穴生ドームフェスタの開催(1回) <穴生>

### (4) 出前講演活動の実施

- ・関係機関・団体と連携した出前講演活動の充実 <全部署>
  - 社会福祉制度や生活・福祉課題に対応した取り組みへの対応(52回 延べ2,471人) <地域支援課>
  - 判断能力が不十分な高齢者や障害者を地域福祉権利擁護事業や成年後見制度へつなぐための、校(地)区社協等の機能を活用した住民への周知(校(地)区社協等への出前講演：9回 337人) <権利擁護・市民後見センター>
  - ボランティア・市民活動啓発のための出前講演(4回 191人) <活動推進課>
- ・健康づくり・介護予防のためのニュースポーツ出前事業(64回 1,305人) <穴生>

### (5) 共同募金運動への協力

- ・市民への共同募金運動の理解促進と募金への協力促進 <全部署>
- ・社協の主催事業及び広報紙等を活用した広報啓発 <財務企画課>
- ・共同募金啓発パネル展の開催 <財務企画課>
- ・共同募金自動販売機の設置促進 <財務企画課>
- ・小地域福祉活動における効果的な啓発活動の促進(ウェルクラブでの実施4件) <地域支援課>

## 2 福祉教育の推進

### (1) 住民啓発講座等による福祉教育

- ・個別テーマ（障害者・生活困窮者支援等）の住民啓発講座の開催（30件 1,215人）  
＜地域支援課＞
- ・認知症サポーター養成講座を活用した福祉課題の市民への啓発  
＜生活福祉課＞
  - 認知症サポーター養成数（7,108人）
  - 校(地)区社会福祉協議会、学生及び企業向け講座の開催（校(地)区社協:17回 577人、学生向け:17回 830人、企業向け:50回 1,647人）
- ・年間コースの共通科目としての福祉教育・人権学習の充実（30コース）  
＜周望・穴生＞

### (2) 社会福祉施設と連携した福祉教育

- ・夏ボランティア体験学習の実施（参加者数：718人、受入施設等：180箇所）  
＜活動推進課＞
- ・校(地)区社協及び社会福祉施設等での交流・活動体験による社会参加の促進（周望:58回 1,200人、穴生:1回 14人）  
＜周望・穴生＞

### (3) 次世代地域福祉活動者の育成

- ＜地域支援課＞
- ・次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の新規取り組み校(地)区の拡大に向けた環境づくり（30校(地)区 参加児童：1,223人）
- ・活動を通じた子ども、校(地)区社協、小学校、社会福祉施設との連携強化（施設での体験学習18校(地)区）

### (4) 学校等教育機関と連携した福祉教育

- ・小地域を基盤とした福祉体験・ボランティア学習への支援及び福祉教育の推進  
＜活動推進課＞
- ・学校教育機関（大学・専門学校）との地域福祉人材育成のための共同カリキュラムの実施（2校 5回 112人）  
＜周望＞

## 3 地域福祉人材の育成

### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・新たなボランティア・市民活動の担い手の養成のための講座の開催
  - まちづくりセミナーの開催（1回 5日 147人）  
＜研修課＞
  - ふくしのまちづくり講座の開催（11回 2~4日 1,069人）  
＜地域支援課・活動推進課・研修課＞
- ・校(地)区社協を中心とした地域福祉活動等への参加促進（16件 971人）  
＜地域支援課＞
- ・地域活動情報支援センターでのボランティア養成講座の開催（1回 2日 13人）

<穴生>

**(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成**

- ・校(地)区社協及び地区民児協と連携した研修事業の実施 <地域支援課・研修課>
- ・新任者の育成 <研修課>
  - 新任福祉協力員等研修の開催（8回 1日 314人）
- ・現任者の育成 <研修課>
  - 現任福祉協力員研修の開催（7回 1日 313人）
  - 地域福祉活動専門研修の開催（1回 1日 87人）
- ・役員の育成 <研修課>
  - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」の開催（1回 1日 496人）
  - 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修の開催（1回 1日 96人）
  - まちづくりゼミナールの開催（1回 3日 48人）
- ・小地域福祉活動者を育成するコースの開催（周望:2コース 74人、穴生:2コース・48人） <周望・穴生>

**(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成**

- ・災害ボランティアの育成と活動支援（登録ボランティア：287人） <活動推進課>
- ・シルバーひまわりサービスボランティアの育成と活動支援（登録ボランティア：1,012人） <活動推進課>
- ・腕自慢おまかせサービスボランティアの育成と活動支援（登録ボランティア：308人） <活動推進課>
- ・入門者の育成 <研修課>
  - 福祉有償運送運転協力者研修の開催（3回 2日 74人）
  - 傾聴ボランティア養成講座の開催（1回 2日 99人）
  - 私にもできる災害ボランティア入門講座の開催（1回 1日 44人）
- ・活動者のフォローアップ <研修課>
  - 送迎ボランティア・フォローアップ研修の開催（実技：1回 1日 13人、座学：2回 1日 43人）
  - 傾聴ボランティア・フォローアップ研修の開催（1回 1日 27人）
  - 災害ボランティア・フォローアップ研修の開催（1回 1日 27人）
- ・リーダーの育成 <研修課>
  - ボランティアリーダー研修の開催（1回 1日 19人）

**(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の育成**

- ・賛助会員企業への社協活動の周知 <全部署>
- ・校(地)区社協を中心とした地域福祉活動等への参加促進【再掲】 <地域支援課>
- ・民間社会福祉事業従事者研修会の開催（1回 1日 28人） <地域支援課・福祉人材バンク>

- ・北九州市社協だよりを活用した「企業の社会貢献活動」紹介（4回）【再掲】  
<活動推進課>
- ・企業等の新任職員研修における福祉教育・ボランティア体験への支援  
<活動推進課>
- ・企業従事者等の育成  
<研修課>
  - 企業の社会貢献活動セミナーの開催（1回 1日 23人）
  - 社会福祉法人の社会貢献活動セミナーの開催（1回 1日 22人）

- （5）ボランティア・市民活動支援者の育成** <研修課>
- ・実務者の育成
  - ボランティアコーディネーター研修の開催（2回 1日 37人）
- ・区社協ボランティア・市民活動センターの支援
  - 研修・講座等の企画支援

## 基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、住民と関係機関・団体とのネットワークの充実を図り、一人でも多くの住民が、自分たちの住むまちの地域づくりに参加することが必要です。

そのため、小地域福祉活動の推進やボランティア・市民活動の振興に努め、誰もが参加しやすい環境づくりを図るとともに、連携や協働を通じて支援を必要としている人の課題を解決していけるように、住民主体の福祉活動を推進していきます。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 小地域福祉活動の活性化

##### (1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化 ＜地域支援課＞

- 重** ・地域の関係機関・団体との連携・協働による小地域福祉活動の充実・強化（155校(地区)）
  - ・新たな地域福祉課題に対応するふれあいネットワーク活動推進事業の検討（見直しの協議：事務局長会議5回、主事職ワーキング部会5回）
- 新** ・複雑・多様化するニーズに対応する地域生活支援活動の推進（2校(地区)、40件）
  - ・各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取り組みの推進
  - ・ふれあいネットワーク活動推進事業「基本事業」の実施
    - 見守りのしくみ  
近隣圏域の設定及び適切な福祉協力員の配置と人材確保（福祉協力員数：6,891人、1人当たり69世帯）
    - 助け合いのしくみ  
ニーズ対応員（チーム）による対象世帯のニーズ把握と生活支援活動の促進（ニーズ対応員：7,779人、生活支援活動：687,665回）
    - 話し合いのしくみ  
校(地区)社協連絡調整会議の定例化及び活性化の支援（全市延1,337回）  
校(地区)社協と福祉関係者やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有
- ・ふれあいネットワーク活動推進事業「メニュー事業」の実施
  - 重点実施事業であるメニュー事業Ⅰの実施（高齢者のサロン事業、次世代地域福祉活動者育成事業、校(地区)単位の小地域福祉活動計画づくり）（132校(地区)、149件）
  - 地域課題に対応したメニュー事業Ⅱの実施（136校(地区)、412件）

##### (2) 地域支援コーディネート機能の充実・強化 ＜地域支援課＞

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた地域福祉活動者間の連携促進

- ・地域支援コーディネーターを配置して地域住民主体の互助活動を支援する生活支援体制整備事業の実施(16人配置)
- ・地域支援部門と相談支援部門の一体的な支援によるニーズ発見や相談・生活支援体制の充実(相談支援部門へのつなぎ:87件、相談支援部門からの受入:113件)

(3) 校(地)区社会福祉協議会会長会議等の開催 <地域支援課>  
 ・校(地)区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催促進

(4) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働 <活動推進課>  
 ・中間支援組織連絡会合同研修会の開催(1回 35人)  
 ・市民ふれあいフェスティバルの参加(1回 4,243人)【再掲】  
 ・ボランティア週間の実施(10月20~28日)【再掲】

## 2 ボランティア・市民活動の支援

### (1) ボランティア・市民活動への支援

- ・ウェルとばたの管理運営事業を活用したボランティア・市民活動の場の提供(随時) <施設部>
- ・施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施(随時) <施設部>
- ・行政と連携した市民のエコ活動の啓発と推進(随時) <施設部>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による個別ニーズに対する相談・支援の充実(個別相談:362件、互助活動に関する相談:1,020件) <地域支援課>
- ・コーディネーション、相談援助、情報提供機能の強化 <活動推進課>
- ・ボランティア活動保険加入助成(23,927人) <活動推進課>
- ・全国規模の研修会への参加助成(応募なし) <活動推進課>
- ・福祉用具の貸出(市域686件) <活動推進課>
- ・市民センター等におけるボランティアコーディネーションの支援 <活動推進課>
- ・シルバーバンク及びボランティアグループの活動支援(周望:10,645人、穴生:11,106人) <周望・穴生>
- ・地域開放事業等の実施(図書館利用者:3,673人、大会議室等利用者:6,069人) <穴生>

### (2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- ・中間支援組織連絡会合同研修会の開催(1回)【再掲】 <活動推進課>
- ・市民ふれあいフェスティバルの開催(1回)【再掲】 <活動推進課>
- ・ボランティア週間の実施(10月20~28日)【再掲】 <活動推進課>
- ・NPO・市民活動団体等とのネットワークの充実 <周望・穴生>

## 3 災害時の福祉救援体制づくり

(1) 災害時の福祉救援体制づくり <地域支援課>

- ・校(地)区社協と民児協等関係団体との連携による災害時の福祉救援体制づくりの推進  
(34校(地)区)

## (2) 災害復興に対応するための体制づくり

- ・絆プロジェクトによる被災者支援 (85件) <財務企画課>
- ・北九州市地域防災計画における災害ボランティア活動の環境整備 <活動推進課>

**重**

- 災害時相互協力協定締結団体との連携強化
- 災害ボランティアセンター設置に向けた行政・関係団体との調整
- 被災者支援にかかる活動や訓練等に対する相談支援
- 関係機関・団体、大学と連携した被災者支援活動の推進
- 市総合防災訓練への参画
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 (2回 183人 若松区)

**新**

- ・災害時資機材の整備 <活動推進課>
- ・災害ボランティアの活動支援
  - 災害及び被災地情報の逐次提供 <活動推進課>
  - 平成30年7月豪雨にかかる被災者支援活動 (18回 延590人 76件のニーズ対応) <活動推進課>
  - 私にもできる災害ボランティア入門講座の開催 (1回 1日 44人) 【再掲】 <研修課>
  - 災害ボランティア・フォローアップ研修の開催 (1回 1日 27人) 【再掲】 <研修課>
- ・災害ボランティアセンターとの連携及び支援 <周望・穴生>
- ・指定緊急避難場所・指定避難所としての活用 (周望学舎宿泊施設、穴生ドーム) <周望・穴生>
- ・防災意識の啓発 <周望・穴生>
- ・普通救命講習の実施 (周望 1回 36人、穴生 1回 19人) <周望・穴生>

## (3) 非常時の危機管理強化

<施設部>

- ・戸畑駅前地区防災相互応援協定に基づく帰宅困難者への支援体制づくり
- ・ウェルとばた入居者との災害時支援体制づくりの推進

## 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり

### (1) 民生委員・児童委員との連携

<地域支援課>

- ・市民生委員児童委員協議会事務局の運営 (会議: 31回、研修会: 5回、大会: 1回)
- ・各区民生委員児童委員協議会との連携
- ・民生委員・児童委員と福祉協力員の連携強化によるふれあいネットワーク活動の充実
- ・民生委員互助共励事業の実施による民生委員・児童委員活動の支援 (弔慰金・見舞金)

等の支給、指定地区民児協事業：2地区)

**(2) 専門職の参加による連絡調整会議の充実・強化**

- ・地域包括（統括）支援センター派遣職員の連絡調整会議、地区民児協会議等への参加促進（59回） <総務課>
- ・社会福祉施設や行政、企業、NPO等多様な機関の参加により地域の課題解決を目指した連絡調整会議の開催 <地域支援課>

**(3) 社会福祉施設等の地域活動への参画とその専門性を活かした地域の課題解決**

<地域支援課>

- ・社会福祉施設協議会連絡会の開催（3回）
- 重 ・各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取組の促進
- ・連絡調整会議や小地域福祉活動計画策定委員会等への社会福祉施設の参画促進
- ・社会福祉法人が行う地域公益事業の内容等について、関係者からの意見徴収実施
- ・社会福祉充実計画地域協議会の運営（2回）

**(4) 福祉の職場の人材確保**

<福祉人材バンク>

- ・福祉人材無料職業紹介事業の実施
- ・「就労支援セミナー」の開催（2回 参加者24人、進学者3人、採用者4人）
- ・「福祉の職場合同就職面談会」の開催（2回 求職者101人、求人施設123法人、採用者13人）
- ・社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓
- ・求職登録者への定期的な求人情報の提供（延べ764人）
- ・求人登録事業所への求職者情報の提供
- ・他の関係窓口や雇用対策事業と連携した就労支援や就労準備支援
- ・福祉のしごとへの理解や関心を高めるための広報活動
- ・福祉系の大学、高等学校、専門学校等との連携
- ・ハローワーク小倉への出張相談実施（11回）
- ・潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業の実施 <地域支援課>

**(5) 社会福祉施設・団体への支援**

- ・民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生事業の実施 <地域支援課>
- ・民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の開催（1回 1日 28人） <地域支援課>
- ・各種別社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <地域支援課>
  - 各種別社会福祉施設協議会会議への参画（12回）
  - 各種別社会福祉施設協議会行事等への参画
- ・各種社会福祉助成事業の情報提供、寄贈物品等の提供先の拡充 <財務企画課>



- ・民間社会福祉施設整備資金貸付事業の実施 <財務企画課>
- ・潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業の実施【再掲】 <地域支援課>
- ・介護サービス相談員による地域密着型サービス事業所の運営推進会議への参画 <生活福祉課>
- ・社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業、市民後見人支援事業の広報、周知 <権利擁護・市民後見センター>
- ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

## 5 小地域福祉活動計画の推進

### (1) 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進

- ・校(地)区での生活・福祉課題に対応するための計画づくりの推進(新規策定:4校(地)区、累計:44校(地)区) <地域支援課>
- ・小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催(2回 延べ84人) <地域支援課>
- ・計画策定委員会への社会福祉施設の参画促進(3施設参画) <地域支援課>
- ・地域福祉活動専門研修の開催(1回 1日 87人)【再掲】 <研修課>

## 基本目標 Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域とつながることで、いつまでも安心して健やかに暮らすことができるよう、高齢者、障害者、子どもたちが居場所や役割を認識でき、地域の一員として社会参加できる環境づくりが重要です。

そのため、住民の日常生活上のさまざまなニーズを早期に把握するための相談支援体制の充実を図り、支援を必要とする人に応じたサービス情報の提供、社会参加、自立支援につながる福祉活動を展開しました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 権利の擁護と相談体制の充実

##### (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>

(地域福祉権利擁護事業：実契約者数 314人)

(法人後見事業：成年後見人等受任数 48人)

・判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利擁護に資することを目的とした、地域福祉権利擁護事業の実施

・成年後見センター「みると」と連携した総合相談の実施

・地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応

・関係団体（行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等）との連携による効果的かつ効率的なサービスの実施（金銭管理サービス総回数：5,262回、生活支援サービス総回数：9,575回、財産保管サービス総回数：25回）

・専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行（家庭裁判所、北九州成年後見センター「みると」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等）（法人後見事業活動総回数：1,352回）

・地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援（移行件数：6件）

・担い手となる支援員の確保、研修の実施（2回）

・地域福祉権利擁護事業利用料改定についての検討

##### (2) 成年後見制度の担い手の育成とその活用の検討・実施 <権利擁護・市民後見センター>

・市民後見人支援事業の実施（実績なし）

・市民後見人養成研修の実施

##### (3) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介

・見守り活動による支援が必要な人への情報提供（生活情報の提供：245,244回）

<地域支援課>

・民生委員・児童委員と連携した相談支援機能の充実

<地域支援課>

・地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申し立て支援（生活支援サービス総回数：9,575回）

<権利擁護・市民後見センター>

#### (4) 社会福祉施設等と連携したサービスの質の向上のための相談体制の充実

- ・介護サービス相談員派遣事業を活用した高齢者福祉施設サービスの質の向上  
(111事業所 延べ1,371回派遣) <生活福祉課>
- ・地域密着型サービス事業所の運営推進会議への介護サービス相談員の参画【再掲】  
<生活福祉課>
- ・社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業、市民後見人支援事業の広報、周知【再掲】 <権利擁護・市民後見センター>
- ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加【再掲】  
<権利擁護・市民後見センター>

## 2 社会参加・自立の支援

### (1) 相談窓口や福祉サービスの利用支援 <地域支援課>

- 画** ・相談・生活支援機能の拡充と地域との連携に向けた体制づくり  
・民生委員・児童委員と連携した高齢者・障害者・ひとり親家庭への支援

### (2) 生活困窮者の相談支援 <地域支援課>

- ・生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の実施
- ・生活困窮者支援に関する住民理解の促進（出前講座：5回、参加者178人）
- ・地域支援部門と相談支援部門の一体的な支援によるニーズ発見や相談・生活支援体制の充実【再掲】
- ・生活福祉資金貸付制度（教育支援資金等）の説明会の実施（1回）
- ・社会福祉施設等と連携した生活困窮者支援のための社会資源開発の検討

### (3) サロン事業の推進 <地域支援課>

- ・サロン活動セミナーの開催（参加者244人）
- ・サロン事業実態調査結果をふまえたサロン活動の推進支援
- ・校（地）区社協と地域団体や社会福祉施設等が連携した地域の通いの場づくりの促進  
（コーディネート件数：27件）

### (4) 高齢者、障害のある人、ひとり親家庭等への支援

- ・日常生活支援総合事業における介護予防、自立支援に向けた効果的な高齢者地域交流支援通所事業の実施及び利用促進 <生活福祉課>
  - 地域団体・地域包括支援センターとの連携による新規利用者増  
(新規利用者数94人)
- ・健康マイレージ事業を活用した地域での主体的な健康づくりの促進（応募者20,061人） <生活福祉課>
- ・介護支援ボランティアの育成と活動支援（新規登録184人） <活動推進課>
- ・年長者研修大学の新人研修生の確保（周望:92人、穴生:105人） <周望・穴生>

- ・地域共生社会を目指した啓発講座の実施（52回 延べ2,471人） <地域支援課>
- ・ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施 <地域支援課>

**(5) 年長者研修大学校による社会参加の支援** <周望・穴生>

- ・年間研修コースでの高齢者の社会参加の支援
  - 周望学舎（15コース 511人）
  - 穴生学舎（15コース 444人）
- ・小地域福祉活動者を育成するコースの開催（周望:2コース 74人、穴生:2コース 48人）【再掲】
- ・年間コースの共通科目としての福祉教育・人権学習の充実（30コース）【再掲】
- ・短期自主講座の開催
  - 周望学舎（シニアカレッジ:3回 105人、パソコン:8回 107人、コンテナガーデンニング講座:1回 17人、アロマセラピー講座:1回 10人、水彩画入門:1回 16人、年長者と孫の集い:1回 23人、一日体験講座:2回 48人）
  - 穴生学舎（シニアカレッジ:2回 115人、パソコン:9回 151人、シニアと孫の夏休み:1回 34人、一日体験講座:2回 26人、公開講座:1回 76人）
- ・年長者研修大学校・穴生ドームにおけるボランティア活動機会の提供（周望 1,358人、穴生 1,239人）
- ・地域活動情報支援センターによるボランティアコーディネート（349件）
- ・年長者研修大学校を拠点とするボランティアグループの育成と支援（周望:21グループ、8,098人、穴生:20グループ、9,867人）
- 新** ・地域支援コーディネーター及びボランティアコーディネーターとの連携
- ・穴生ドームでの健康・体力づくり事業
  - 健康づくり・介護予防プログラムづくり
  - ニュースポーツ出前体験（64回 1,305人）
  - 早朝開放やニュースポーツ無料開放デー（早朝開放:9,503人、ニュースポーツ無料開放デー:12回 285人）
- ・シニア世代の社会貢献を行う生涯現役夢追塾事業及び同窓会活動への実施支援

**(6) 障害のある人の社会参加・自立の支援**

- ・障害者就労支援施設製品等の活用促進のための販売カタログを関係機関、団体へ配布 <財務企画課>
- ・ウェルとばた・年長者研修大学校での障害者の就労支援 <施設部・周望・穴生>
- ・障害者優先調達推進法に基づく障害者の製作品のイベントなどでの紹介及びウェル新聞等の媒体を活用した広報 <施設部>
- ・特別支援学校、作業所と協力した福祉市場の開催 <施設部>
- ・業務委託先への障害者雇用推進の働きかけ <施設部>
- ・市社協主催事業における福祉関係入居団体との連携 <施設部>
- ・地域共生社会を目指した啓発講座の実施（52回 延べ2,471人）【再掲】 <地域支援課>

### (7) 地域住民、ボランティアによる生活支援

- ・ニーズ対応員（チーム）による対象世帯のニーズ把握と生活支援活動の促進  
（ニーズ対応員：7,779人、生活支援活動：687,665回）【再掲】 <地域支援課>
- 新** ・複雑・多様化するニーズに対応する地域生活支援活動の推進【再掲】（2校(地)区、40件） <地域支援課>
- ・高齢者見守りサポーター派遣事業利用者拡大のため各区社会福祉協議会、地域活動者、地域包括支援センター等と連携した事業周知（事業周知：100回 5,336人） <生活福祉課>
- ・シルバーひまわりサービスの実施・ボランティアの養成（8,403件） <活動推進課・研修課>
- ・腕自慢おまかせサービスの実施、ボランティアの養成（22件） <活動推進課>
- 重** ・地域の生活支援力の向上（ふくしのまちづくり講座の開催） <活動推進課・研修課>
- ・在宅高齢者サービスにかかる行政、労働組合、企業との連絡調整 <活動推進課>

## 3 調査・研究、提言

### (1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催 <地域支援課>

- 重** ・総合企画委員会の開催及び行政や関係機関・団体、企業等との連携による地域福祉活動第五次計画の推進、点検・評価
- ・行政計画との連携

### (2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言 <地域支援課>

- ・ふれあいネットワーク活動推進事業第三者評価委員会の開催（1回）
- 新** ・学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動の効果的な推進
- ・ふれあいネットワーク活動中間報告、実績報告等を活用した校(地)区社協の活動状況の把握・分析による課題整理
- ・行政、他市町村社協等の関係機関との連携による先進的小地域福祉活動事例の情報収集

### (3) ボランティア・市民活動実態調査

- ・ボランティア・市民活動の活動実態調査の実施及び冊子の発行（対象758団体 1,000部発行） <活動推進課>
- ・高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査、研究（1回） <周望・穴生>
- ・年長者研修大学校修了後の地域活動の追跡調査（1回） <周望・穴生>

## 組織体制の強化

地域福祉活動第五次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するために、社会福祉法人制度改革に的確に対応するとともに、自主財源の確保、職員の人材育成等を行い、組織体制の一層の強化に努めました。

- ・ 賛助会員の加入促進 <全部署>
- ・ 無期雇用嘱託職員の採用（6人） <総務課>
- ・ 研修等を通じた職員の人材育成（初任者研修、人権研修、会計研修の実施）  
<総務課・財務企画課>
- ・ 自主財源確保のための収益事業の実施 <財務企画課>

## 常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行いました。

- ・ 表彰審査委員会（1回） <総務課>
- ・ 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（開催なし） <財務企画課>
- ・ 生活福祉資金調査委員会（開催なし） <地域支援課>
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済制度運営委員会（1回） <地域支援課>
- ・ 総合企画委員会（2回） <地域支援課>
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会（2回） <活動推進課・研修課>
- ・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会（10回） <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（2回） <周望・穴生>

# 事業実施内容





## ◇会務運営

本会では平成 28 年度から 5 ヶ年の新たな活動指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を策定し、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けた体制を一層整えてまいりました。

財務面においては、限られた財源を有効に活用するため、様々な経費削減を図ることに加え、賛助会員の増強運動や自主財源確保に努め、運営基盤の強化にも努めてまいりました。

また、関係法令に沿った適正な機関運営事務の他、税務及び労務事務についても適正な処理を行いました。

### 1 理事会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第 257 回	H30. 4. 1	15/17	1 常務理事の選任について 2 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第 258 回	H30. 5. 22	16/17	1 平成 29 年度事業報告について 2 平成 29 年度収支決算について 3 定款施行細則の一部改正について 4 事務局処務規程の一部改正について 5 経理規程の一部改正について 6 評議員選任候補者の推薦について 7 第 204 回評議員会（平成 30 年定時評議員会）の日時及び場所並びに議案の決定について
第 259 回	H30. 10. 23	13/17	1 評議員選任候補者の推薦について
第 260 回	H31. 2. 20	17/17	1 平成 30 年度収支補正予算について 2 平成 31 年度事業計画について 3 平成 31 年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 経理規程の一部改正について 6 会員規程の一部改正について 7 福祉活動推進基金設置・運営規程の制定について 8 災害時要援護者復興支援基金規程の一部改正について 9 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 10 旅費規程の一部改正について 11 職員就業規則の一部改正について 12 嘱託職員及び臨時職員就業規則等の一部改正について 13 評議員選任候補者の推薦について 14 第 205 回評議員会の日時及び場所並びに議案の決定について

## 2 評議員会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第204回	H30. 6. 20	24/31	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度収支決算について
第205回	H31. 3. 12	23/31	1 平成30年度収支補正予算について 2 平成31年度事業計画について 3 平成31年度収支予算について 4 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 5 旅費規程の一部改正について 6 理事の補充選任について 7 監事の補充選任について

## 3 監事監査

実施日	実施監事名	監査の内容
H30. 5. 15	西村 時代 宮津 誠 野瀬 昌弘	平成29年度理事の職務執行状況 (事業報告及び計算関係書類等の検討)

## 4 市社協正副会長・区社協会長合同会議

実施日	出席者数	議題
H30. 5. 18	10	1 第258回理事会の議題について 2 第204回評議員会の議題について
H31. 2. 14	9	1 第260回理事会の議題について 2 第205回評議員会の議題について

## ◇賛助会員の加入促進

本会活動への賛同者の増加及び地域福祉事業推進のための財政基盤強化を目的として、市内企業等を中心に賛助会員の加入促進に取り組みました。

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
H26年度	254	5,800,000	346	1,181,000	600	6,981,000
H27年度	228	5,310,000	271	923,000	499	6,233,000
H28年度	228	4,330,000	194	631,000	422	4,961,000
H29年度	246	4,790,000	152	486,000	398	5,276,000
H30年度	242	4,350,000	190	499,000	432	4,849,000

## ◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付事業を実施しました。

### 【貸付状況の推移】

年度	件数	貸付金額
H26年度	4件	57,000,000円
H27年度	0件	0円
H28年度	2件	14,700,000円
H29年度	0件	0円
H30年度	0件	0円

### 【平成30年度末貸付件数及び貸付残高】

13施設 76,648,000円

## ◇民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設を対象に、施設職員の賞与等の支給原資として資金の貸付を予定していましたが、新規申込はありませんでした。

なお、平成7年度以降、新規の貸付申請はありません。

## ◇広報紙の発行事業

社協活動を多くの市民に知らせるとともに、福祉に関する正しい理解を広げるため、市社協だよりを年4回発行しました。

発行にあたっては、魅力的な広報紙にするため特集記事や紙面構成などを工夫し、社協活動についての理解促進と、読者の興味を引くような紙面づくりに努めました。

広報紙名	発行回数	1回あたりの発行部数	年間発行部数
北九州市社協だより	年4回	43,000部	172,000部

## ◇寄贈品の提供事業

市内の障害者、高齢者及び児童養護施設の利用者等を対象に、各企業様からご提供いただいたプロ野球観戦等の招待チケットなどの提供を行いました。

項目	提供者及び企業名	施設数	招待者数
プロ野球公式戦招待	(株)ソフトバンクホークス	230施設	3,201人
プロレス観戦招待	(株)ドラゴンゲート	27施設	166人
プロレスラー施設慰問	NPO法人九州プロレス	18施設	—
真言宗クラシックコンサート招待	第一交通産業(株)黒土始様	7施設	45人
よしもとお笑いライブ招待	第一交通産業(株)黒土始様	87施設	1,136人

## ◇助成金の情報提供等事業

民間公益団体が実施する、障害者、高齢者、児童福祉及び地域福祉等を対象とする各種助成金について、情報提供及び申請に係る推薦等の支援を行いました。

平成30年度は、31件の助成事業の情報提供を行ないました。

## ◇障害者就労支援施設への支援事業

障害者就労支援施設商品等の活用促進のための販売カタログを共同受注センターと協働のもと作成し、市民センター、賛助会員企業、校(地)区社協等の関係機関、団体へ配布を行いました。

## ◇収益事業

ふれあいネットワーク活動推進事業をはじめとした社協活動の安定的な財源確保のため、収益確保の取り組みに努めました。

### 1 駐車場管理

北九州市交通局から遊休地を借用し、駐車場管理事業を実施しました。

平成29年度から北九州市の遊休地17箇所の借用ができなくなり、収益額も大幅に減少しています。

年度	収益額（円）	箇所数	延べ契約台数	有効駐車台数	稼働率
H26年度	8,593,978	24	4,281	4,884	87%
H27年度	6,610,257	19	3,785	4,248	89%
H28年度	6,961,857	19	4,017	4,654	86%
H29年度	449,698	2	304	408	75%
H30年度	530,554	2	370	408	91%

### 2 北九州市社協だよりへの広告掲載

年4回発行する広報紙北九州市社協だよりの紙面を活用して、福祉・保健分野などの事業所や企業・団体の広告を掲載し、収益確保に努めました。

年度	収益額（円）	掲載件数（件）
H26年度	518,400	11
H27年度	518,400	13
H28年度	518,400	15
H29年度	518,400	15
H30年度	518,400	15

### 3 「まちづくりクッキー」の販売

障害者施設との連携強化及び社協活動の周知を目的に、区社協など関係機関、団体の協力を得て「まちづくりクッキー」を販売しました。

年度	収益額（円）	売上数量（個）
H26年度	39,300	393
H27年度	69,200	692
H28年度	32,000	320
H29年度	37,700	377
H30年度	26,000	260

# ◇平成30年7月豪雨災害に関する支援活動

## 1 職員の派遣

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、広島県・坂町災害たすけあいセンターの運営支援のため職員の派遣を行いました。

- (1) 派遣期間 平成30年8月17日～22日 平成30年9月18日～23日
- (2) 派遣者数 延べ4人

## 2 平成30年7月豪雨災害における被災者支援（本会絆プロジェクト）

平成30年7月豪雨災害に係る北九州市内への長期避難世帯に対して、北九州市の要請に基づき本会の絆プロジェクト基金から見舞金原資の拠出を行いました。

区分	見舞金	世帯数	見舞金支給額
1世帯	100,000円	85	8,500,000円

## 3 義援金の募集・受付

平成30年7月豪雨災害で被害を受けられた方々に対する義援金の募集・受付を行いました。

- (1) 募集期間 平成30年7月10日～令和元年6月28日
- (2) 受付場所 ウェルとばた、穴生・周望学舎（募金箱）
- (3) 義援金額 725,692円（平成31年3月末現在）

## 4 その他の活動

北九州市ボランティア・市民活動センターでの、災害ボランティアに関する問合せに対応するための臨時開所、ボランティア相談支援及び支援調整など行いました。

## ◇ウェルとばた運営事業

第三期指定管理期間の5年目にあたり、市民サービスの向上と、ウェルとばたの複合施設としての特徴を最大限に活かし、市民会館まつり、花火観賞会、映画上映会等の実施を通じ、地域の活性化と福祉文化の発信に努めました。

また、「北九州市障害者芸術祭」及び「ふれあいフェスタ」に実行委員として参画し、福祉文化事業の下支えを行いました。

なお、第三期指定管理の提案内容については、指定管理期間で着実に実施できるよう努めていきます。

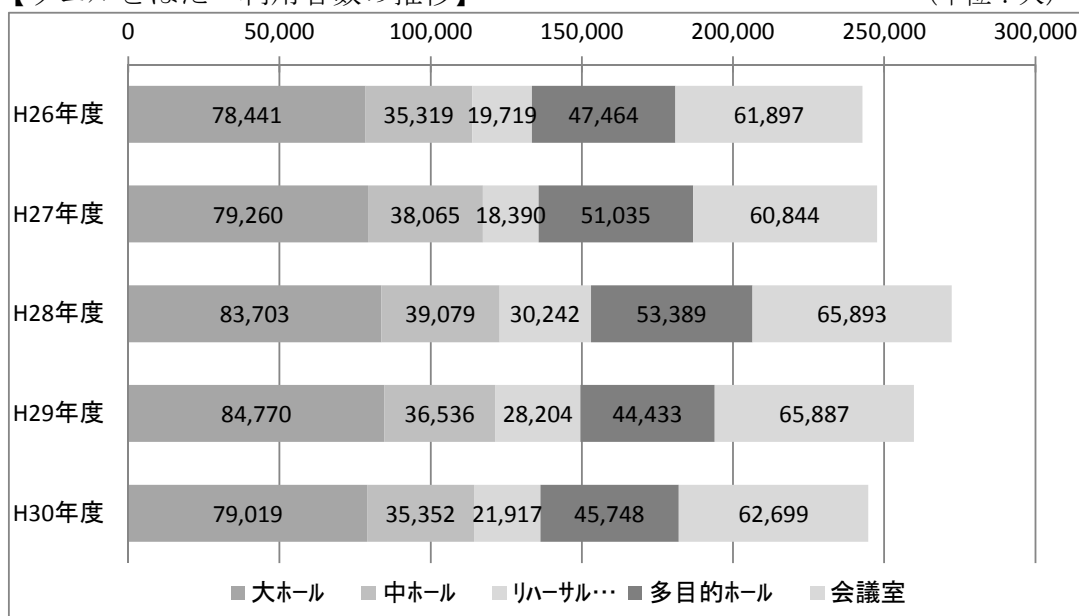
### 1 会議室等利用状況

(単位：人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハーサル・練習室	多目的ホール	会議室	
H26年度	78,441	35,319	19,719	47,464	61,897	242,840
H27年度	79,260	38,065	18,390	51,035	60,844	247,594
H28年度	83,703	39,079	30,242	53,389	65,893	272,306
H29年度	84,770	36,536	28,204	44,433	65,887	259,830
H30年度	79,019	35,352	21,917	45,748	62,699	244,735

【ウェルとばた 利用者数の推移】

(単位：人)



福祉会館の利用者数について、会議室は昨年比マイナス5%、多目的ホールは昨年比プラス2%となりました。また、稼働率は福祉会館全体で81%、昨年の83.3%からマイナス2.2%となっています。一方、市民会館大・中ホール及びリハーサル・練習室の利用者数は昨年比で91.1%、稼働率は78.2%で、昨年の78.6%からマイナス0.4%増となりました。

ウェルとばた全体として見ると、利用者は前年比で若干減少しましたが、稼働率は上がっています。

## 2 にぎわい創出事業

行事名	実施日	人員	内容
初夏のをどり	H30. 6. 10	494	主に戸畑区内で活動する日本舞踊の団体と女性和太鼓グループの発表会。市民会館大ホールで毎年開催。幅広い年代の出演者が熱演を繰り広げた。
くきのうみ 花火の祭典観賞会	H30. 7. 21	296	ウエルとばた 6 階屋上庭園を市民に開放して、花火観賞会を開催。家族連れ、車いすの方などにゆっくと楽しんでいただいた。
ウエルとばた COOL CHOICE トリイットコンサート	H30. 7. 6	—	市環境局とタイアップした地球温暖化対策を呼びかけるコンサート。街なか避暑地であるウエルとばた交流プラザで、富永裕輔氏を招き開催予定であったが、台風接近のため中止した。
ステージで スタインウェイを 弾いてみませんか	H30. 12. 27 H31. 2. 17	72	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館中ホールで開催。
ステージで ベーゼンドルファー を弾いてみませんか	H30. 8. 10 H31. 1. 12	119	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館大ホールで開催。
歌まつり	H31. 1. 20	350	戸畑区内で活動するカラオケ団体の練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで毎年開催。
映画上映会	H31. 2. 3	141	毎年福祉文化の発信と豊かな土壌づくりを目的に開催。平成30年度は、映画「0.5ミリ」を中ホールで上映。
ウエルカムコンサート	奇数月第2 木曜日	延 600	北九州市内で活躍している音楽家に依頼し、隔月第2木曜日の昼休みに交流プラザ特設ステージで様々なジャンルの演奏会を開催。今ではファンが定着し、毎回多くの方にご来場いただいている。
七夕飾り	H30. 6. 24 ～7. 8	-	交流プラザのにぎわいづくりとして企画。ボランティアの協力で七夕飾りを設け、来館者に願いごとを書いた短冊の飾りつけを開放。幅広い年代に楽しんでいただいた。
イルミネーション ツリー関連行事	H30. 11. 27 ～12. 26	-	交流プラザに高さ3mを越す巨大なイルミネーションツリーを展示し、多くの来館者に楽しんでいただいた。12/22には、折尾愛真ハンドベルクワイア・北九州市少年少女合唱団・80歳からの合唱団北九州の皆さんを迎え、ミニコンサートを開催した。
雛飾り	H31. 2. 4 ～3. 29	-	交流プラザに雛飾りを展示し、季節感を感じていただいた。

上記事業以外にも、北九州市障害者芸術文化応援センターと北九州市人権推進センターが共同で開催する「北九州市障害者芸術祭」、「ふれあいフェスタ」に実行委員として参画しました。



### 3 水道光熱費削減の取り組み

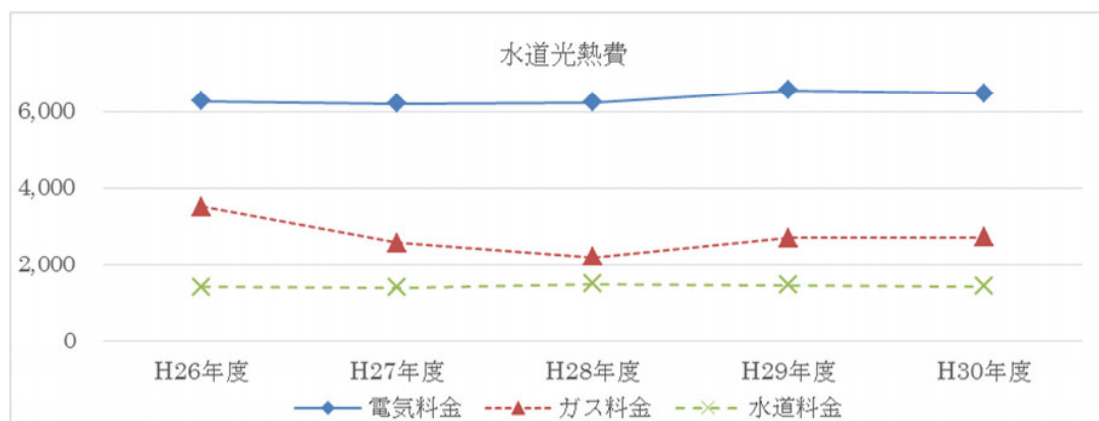
燃料需給契約は、常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めています。

ライフライン各社とは使用量などをもとに臨機応変に契約変更を行う等、徹底した運用管理を行いましたが、光熱水費の価格変動や猛暑寒波の影響などもあり、昨年比で約 8.2%の増額となりました。

平成 31 年度も継続して省エネに取り組むとともに、入居団体等に「ウェルとばたエコ・オフィスプラン」への協力を呼びかける等、環境保護の啓発に努めます。

#### 【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
電気料金	62,796,307	62,208,526	62,462,522	65,774,466	64,966,832
ガス料金	35,142,082	25,741,417	21,973,429	27,097,756	27,240,579
水道料金	14,090,811	13,923,570	14,936,325	14,614,890	14,211,043

### 4 広報・情報発信状況

北九州市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウェルとばた Facebook を開設し積極的な情報発信を行いました。事業ごとには、マスコミ、コミュニティFM各社の協力により、一定の成果がありました。

また昨年度リニューアルしたホームページは、ユーザー数・アクセス数が大幅に増加し、利用者より好評を得ています。(ユーザー数:74,538人、アクセス数:96,814件、ページ閲覧数:291,138ページ)

### 5 安全・安心な施設管理の取り組み

安全を維持するため、毎年実施している建築設備点検を3月に実施、また、消防設備点検及び防火対象物点検を2回実施するとともに、防火管理上の観点から防火対象物点検資格者講習に参加するなど、防火への取り組み強化に努めています。

館内での事故等に備え加入している施設賠償責任保険については、平成 28 年度に契約内容(1事故最高賠償金額1億円)の見直しを行い、1事故最高賠償金額5億円へと増額しています。また、救命体制の強化を図るため、AED(自動体外式

除細動器)を1階防災センターと2階総合案内、3階市民会館側ホールロビー、福祉会館8階エレベーターホール横に加え、新たに12階エレベーターホール横にも設置しました。これによりウエルとばた内のAEDの設置箇所が5箇所となったことから、北九州市の「おたすけAED事業」に沿ったところで、より多くの市民・利用者を救命できる体制を構築していきます。

## 6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウエルとばたにお越しになる方に心と癒しをいただけるよう、

- ・1階正面階段脇の花壇に花を植栽(年2回植え替え)
- ・2階交流プラザ総合案内前にアートフラワー作家による「布の花」を展示(年5回入れ替え)
- ・2階交流プラザで心和むBGMを放送
- ・2階ペDESTリアンデッキの国旗掲揚ポールに鯉のぼりを掲揚(4月中旬から5月上旬までの間)
- ・2階国旗掲揚場周辺を戸畑あやめの植栽スペースとして整備(4月下旬から5月上旬にかけて)

# ◇住民による地域づくり事業

## 1 地域福祉活動計画推進事業

「北九州市地域福祉活動第五次計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）の 3 年次にあたる平成 30 年度は、第五次計画が円滑に推進されるよう総合企画委員会、第三者評価委員会等において進捗状況の点検・評価を行いながら協議を重ねてきました。

社会福祉協議会が推進役となり地域福祉活動に取り組むことで、活動計画の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、市民に対する広報・啓発活動の強化や、子どもから大人までの福祉教育の推進、活動の担い手となる人材の育成・確保、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークづくりを推進しました。

### (1) 北九州市地域福祉活動第五次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	目標達成のための基本項目
みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう	1 広報・啓発の強化
		2 福祉教育の推進
		3 地域福祉人材の育成
	基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで、身近な福祉活動を進めよう	1 小地域福祉活動の活性化
		2 ボランティア・市民活動の支援
		3 災害時の福祉救援体制づくり
		4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
	基本目標 III 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	5 小地域福祉活動計画の推進
		1 権利の擁護と相談体制の充実
2 社会参加・自立の支援		
		3 調査・研究、提言

## 2 住民福祉活動促進事業

本年度も、平成 5 年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化に努めました。

基本事業としては、連絡調整会議の活性化を図るとともに、福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

メニュー事業としては、地域の高齢者の居場所づくりとして「高齢者のサロン事業」、次世代へ地域福祉活動をつないでいくために「次世代地域福祉活動者育成事業」、地域課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画づくり」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業（基本事業・メニュー事業）の推進  
ア 各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

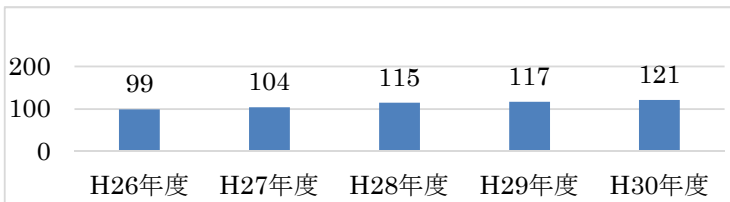
事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	763	11,299	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	866	51,645	話し相手 363,526
小倉北	25	1,224	27,253	112,149	1,564	153,184	買い物支援 19,571
小倉南	27	1,217	17,015	障害のある人の世帯 3,311	347	123,324	生活情報の提供 245,244
若松	14	500	8,955	ひとり親で子育て中の世帯 2,211	576	33,249	薬とり 1,936
八幡東	21	590	15,527	その他の世帯 2,175	1,750	117,836	庭掃除 1,441
八幡西	33	1,962	29,015		2,007	169,904	布団干し・入れ 368
戸畑	14	635	10,782		669	38,523	洗濯 2,080
							ゴミ出し 36,126
							その他 17,373
全市	155	6,891	119,846		7,779	687,665	

イ メニュー事業Ⅰ実施状況  
メニューⅠ－①「高齢者のサロン事業」

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
西門司 藤松 大里南 大里柳 大里東 小森江西 小森江東 錦町 庄司 古城 門司 清見 田野浦 白野江 大積 柄杓田 伊川 松ヶ江北 松ヶ江南	藍島 足原 足立 泉台 到津 井堀 今町 貴船 清水 小倉中央校区米町 小倉中央校区塚町 小倉中央校区天神島 桜丘 三郎丸 寿山 城野第一 富野 中井 中島 西小倉 日明 南丘 南小倉	北方 東谷 貫 曾根 葛原 吉田 長行 山本 若園 企救丘 湯川 城野 沼 守恒 志井 長尾 東朽網 広徳	浜町 深町 修多羅 古前 藤ノ木 二島 鴨生田 江川 高須 青葉台 ひびきの	高見 槻田第三 高槻 枝光第一 枝光第二 枝光北 尾倉第四 前田北 前田第三 前田第四	木屋瀬 陣原 穴生 陣山 折尾東 則松 熊西 上津役 本城 浅川 八児 鳴水 引野 中尾 塔野 永犬丸 筒井 青山 医生丘 光貞 楠橋 千代 池田 竹末・若葉 黒畑 永犬丸西 赤坂 八枝 黒崎 星ヶ丘	東戸畑 鞆ヶ谷 大谷第一 浅生 天籟寺 一枝 三六 中原 西戸畑 牧山東	
19	23	18	11	10	30	10	121

メニューⅠ－①「高齢者のサロン事業」  
サロン活動取り組み校(地)区社協数の推移



サロン活動セミナーの開催

実施日	人員	内容
H31. 2. 26	244人	<p><b>【報告】</b> 「社協のサロン活動の現状と課題 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部長 下田 俊</p> <p><b>【基調講演】</b> 「生きがい・健康づくりの場としてのサロンの力～住民みんなが元気になるコツ！～」 講師 生涯学習通信「風の便り」編集長 三浦 清一郎 氏</p> <p><b>【パネルディスカッション】</b> 「サロン運営のコツ！地域に関わるみんなの力を活用しよう！」 コーディネーター 生涯学習通信「風の便り」 編集長 三浦 清一郎 氏</p> <p>パネリスト 守恒校区社会福祉協議会 サニー茶論 代表 岡本 浪江 氏 (福)倫尚会 理事長 浦部 倫太 氏</p>

メニューⅠー②「次世代地域福祉活動者育成事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
藤松 田野浦 柄杓田 松ヶ江北	泉台 北小倉 富野	曾根 朽網 合馬 山本 徳力 曾根東 東朽網	小石赤崎 古前	高見 高槻 大蔵第一 大蔵第三 枝光北 中央第一	折尾西 永犬丸西 赤坂		
4	3	7	2	6	3	0	25

※基本事業等としてウェルクラブ活動を実施した校(地)区社協

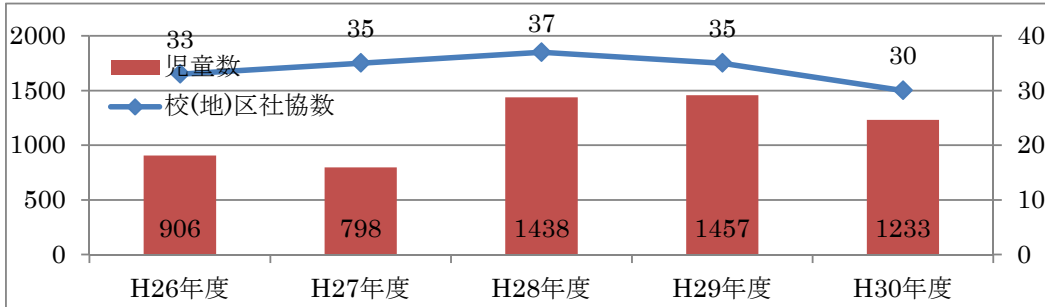
門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
大里柳 清見		道原	—	—	竹末・若葉	天籟寺	
2	0	1	—	—	1	1	5

世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施状況

	校（地）区社協	小学校	参加児童数	活動内容								特徴等		
				見守り活動	助け合い活動	疑似体験	共同募金活動	施設訪問・交流	認知症養成講座	サロン訪問	地域交流・行事		活動報告会	
1	藤松	藤松	10								○		バザー、ふじまつフェスタ、敬老会、餅つき・配布	
2	大里柳	大里柳	529	○	○						○	○	敬老会、グラウンドゴルフ大会、クリスマス会	
3	清見	港が丘	10	○			○	○			○	○	一泊研修、敬老会、高齢者昼食会	
4	田野浦	田野浦	26	○							○	○	敬老会、年賀状配布	
5	柄杓田	柄杓田	11	○				○				○		
6	松ヶ江北	松ヶ江北	48	○	○	○		○	○		○	○	清掃活動、祭り出演、ふうせんバレー	
7	泉台	泉台	12					○	○	○		○		
8	北小倉	北小倉	20	○		○		○		○	○	○	清掃活動、研修旅行	
9	富野	富野	10							○	○	○	ふれあい昼食会	
10	曾根	曾根	12	○	○		○	○		○	○	○	ふれあいまつり	
11	朽網	朽網	25	○	○			○			○	○	清掃活動、敬老会、夏祭り、文化祭	
12	合馬	合馬	23	○	○						○	○	合同慰霊祭、どんど焼き、グラウンドゴルフ大会	
13	山本	すがお	68					○			○	○	敬老会、餅つき大会、ボーリング大会、送る会	
14	道原													
15	徳力	徳力	28	○			○	○			○	○	敬老会、餅つき、まつりみなみ・子ども神輿	
16	曾根東	曾根東	18	○	○	○	○	○			○	○	ふれあいまつり、清掃活動、音楽祭	
17	東朽網	東朽網	26	○										
18	小石赤崎	小石・赤崎	73	○		○						○		
19	古前	古前	40	○							○	○	○	そうめん流し、親子縁日
20	高見	高見	12	○	○	○		○			○	○	○	宿泊研修、敬老会
21	高槻	高槻	31								○	○	○	ほたる祭り、サマーキャンプ、そうめん流し、どんど焼き
22	大蔵第一	大蔵	16	○				○				○	○	市民とボランティアの集い
23	大蔵第三													
24	枝光北	枝光	14	○	○	○		○			○	○	○	そうめん流し、市民とボランティアの集い、昔遊び
25	中央第一	八幡	13	○	○	○		○			○	○	○	市民とボランティアの集い、清掃活動、疑似体験
26	折尾西	折尾西	18	○		○		○			○	○	○	文化祭
27	竹末・若葉	竹末	49	○				○			○	○		
28	永犬丸西	永犬丸西	34	○	○			○			○	○	○	盆踊り、敬老会
29	赤坂	赤坂	15	○	○	○		○			○	○	○	清掃活動、そうめん流し
30	天籟寺	天籟寺	32	○	○						○	○		校区大運動会、しょうぶまつり、梅まつり
全市計		30校(地)区 1,223人												

メニュー I - ② 「次世代地域福祉活動者育成事業」

ウェルクラブ活動 取り組み校(地)区社協数及び参加児童数の推移



メニュー I - ③ 「校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくり」

小地域福祉活動計画策定校(地)区と重点実施項目

※第一次計画 (平成 31~35 年度)

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門司	萩ヶ丘	「萩ヶ丘校区 小地域福祉活動第一次計画」 ①見守り、助け合い、話し合いの活動を充実し、安心して暮らせる萩ヶ丘校区にしよう ②災害時の福祉救援体制づくり
	白野江	「白野江校区の元気プラン」 ①活動の基盤を強化して、基本活動を充実しよう！ ～見守り・助け合い・話し合いのしくみで安心な白野江へ～
	門司	「住民発！『門司スクラム計画』～声かけあう町・門司校区～」 ①ふれあいネットワーク活動の充実 ②災害時の福祉救援体制づくり～1人でも多くの命を救おう～
小倉北	到津	「到津ささえ愛まごころプラン」 ①ふれあいネットワーク活動の充実・強化
計		4校(地)区

※第二次計画 (平成 31~35 年度)

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門司	大里南	「住民発！大里南校区小地域福祉活動第二次計画」 ①サロン活動と災害時の福祉救援体制づくりを充実しよう！ ②基本活動の強みを活かして、ネットワークを広げよう！
小倉南	曾根	「住民発！曾根校区小地域福祉活動第二次計画」 ①サロン活動の拡充 ②まちづくり協議会・防犯防災部会との連携を密にし、災害時に備える ③誰でも参加できる行事の企画・運営の開発
若松	高須	「高須地区の元気プラン」 ①気軽に交流できる居場所づくり・気軽に立ち寄れる場所 ②互いに声を掛け合い、防犯・防災協力体制づくりの実践活動



		③毎日の健康づくりの習慣化 ④高須ちょこっと応援タイのコーディネート
八幡東	枝光第一	「枝光第一地区の元気プラン」 ①助け合い活動を広げよう ②気軽に集えるたまり場をつくろう
戸畑	一枝	「一枝地区のあったかプラン」 ①地域の見守り体制の強化 ②気軽に集える居場所づくり
計		5校(地区)

小地域福祉活動計画策定研修（ふくしプランニング工房）の開催

① 会場 ウェルとばた多目的ホール

回	実施日	人員	内容
1	H30. 6. 29	35人	第1回小地域福祉活動計画策定研修 【講義】①地域 みんなが楽しく活躍できるプランを立てよう 講師 ㈱まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏 ②小地域福祉活動計画の意義と策定方法 講師 福岡県立大学人間社会学部 准教授 村山 浩一郎 氏 【演習】①課題を視覚的に抽出・整理するカードワーク ②重点実施項目の選択と段階的な取り組み
2	H31. 3. 18	49人	第2回小地域福祉活動計画策定研修 【発表】①各校(地)区社協の計画書(最終案)発表 【講義】①計画の推進について 講師 福岡県立大学人間社会学部 准教授 村山 浩一郎 氏
計		84人	

ウ メニュー事業Ⅱ実施状況

(単位：校(地)区)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
① 地域交流活動 世代間交流、健康づくり等	8	23	26	13	18	26	4	118
② 生活支援活動 買い物支援、子育て支援等	1	7	12	4	6	10	0	40
③ 研修・学習活動 住民啓発講座、視察研修等	2	3	13	9	12	16	2	57
④ 広報・調査活動 広報紙発行、障害理解等	2	3	21	6	13	23	0	68
⑤ 福祉救援体制づくり 要援護者マップ、避難訓練等	6	5	5	2	10	4	2	34
⑥ 年末年始ふれあい活動 見守り強化、年末年始行事等	2	17	24	8	13	29	0	93

⑦ その他の活動	0	0	1	2	0	0	0	3
計	21	58	102	44	72	108	8	413

(2) 出前講演活動の実施

項目	主な内容	回数(回)	受講者数(人)
1	住民の支えあい「ふれあいネットワーク活動」	16	971
2	誰もが自分らしく生きられる地域づくり～生活困窮者の支援～	5	178
3	災害にも強い福祉のまちづくり	0	0
4	あなたにもできるボランティア	6	253
5	あんしんな暮らしのお手伝い	8	307
6	“ともに生きる” 障害のある人にもやさしいまちづくり	14	604
7	ご存知ですか? “ひきこもり” のこと	3	126
8	その他	0	0
計		52	2,471

(3) 社協PR用オリジナルTシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布 (単位:枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
158	179	34	76	447

(4) 他都市からの照会・視察受入れ

相手先	対応	内容
宗像市葉山区福祉会	視察	実施日: H30. 11. 13 テーマ: 見守り活動の充実について 視察者: 16名 対応校区社協: 門司区藤松校区社協
久留米市津福校区社協	視察	実施日: H30. 11. 14 テーマ: 要支援者における生活支援活動について 視察者: 15名 対応校区社協: 小倉南区守恒校区社協
久留米市まちづくり連絡協議会	視察	実施日: H30. 11. 19 テーマ: 小地域福祉活動計画について 視察者: 40名 対応校区社協: 小倉北区中井校区社協
美東町福祉の輪づくり運動推進協議会	視察	実施日: H30. 11. 26 テーマ: サロン活動について 視察者: 13名 対応校区社協: 八幡西区穴生地区社協

(5) 学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動計画の効果的な推進

実施日	内容
H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31	【学識経験者】 福岡県立大学 准教授 村山 浩一郎 氏 【業務内容】

	<p>小地域福祉計画策定及び推進にかかる校(地)区社協支援体制の強化</p> <p>①協議及び会議等での発言(全10回)</p> <p>②地域福祉活動第五次計画の進捗状況に関する分析等</p> <p>③地域の特性や実情を踏まえた小地域福祉活動の分析等</p>
--	---

(6) その他会議への参画

- ・北九州市障害者差別解消支援地域協議会
- ・地域包括支援に関する会議
- ・北九州市居住支援協議会
- ・北九州市自殺対策連絡会議
- ・北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
- ・障害福祉団体連絡協議会定期総会
- ・北九州市保健所運営協議会
- ・北九州市防災会議
- ・北九州市民生委員推薦会
- ・北九州市障害者自立支援協議会 地域ネットワーク部会
- ・北九州市ホームレス自立支援推進協議会

## ◇生活支援体制整備事業

平成27年度より、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援しました。

地域の多様化する生活・福祉課題に対応するためには、地域の見守り・支え合いを強化する必要があり、地域の関係機関・団体、社会福祉施設等との連携を図り、地域の話し合いの場を活性化するとともに、地域の互助活動の強化を行いました。また、地域資源や地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

### 1 地域資源の発掘・組織化業務

#### (1) 地域課題の把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域プロフィールシート(地区カルテ)を作成・更新しました。

①地域の会議等への参加実績 2,732回、76,096人(全市)

②地域プロフィールシート作成状況 全155校(地)区整備

#### (2) 地域資源の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源(サービス)情報シートを作成しました。

①地域資源(サービス)情報シート作成状況(H27~H30年度累計)

項目		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
生活支援	買い物支援	23(1)	5(2)	10	25	7(1)	15(5)	9	94(9)
	配食サービス	5		4	1	1	4	8(1)	23(1)
	調理	4	1	4	1	1	2(1)	5	18(1)
	掃除・洗濯	8	1	4	1	1	2(1)	3	20(1)
	外出介助	8	1	4	1	4	3(1)	6	27(1)
	貸室	2	1(1)	3(1)		3	2	3	15(2)
	その他	103	2	18(1)	15	10	8	41(1)	197(2)
	小計	153(1)	11(3)	47(2)	44	27(1)	36(8)	75(2)	393(17)
互助活動	ゴミ出し							1	1
	話し相手								
	見守り・安否確認活動								
	サロンなどの交流会	9	9(4)	32(2)	25	11	6(4)	28(3)	120(13)
	その他	2			1	2(1)	10(3)	5	20(4)
	小計	11	9(4)	32(2)	26	13(1)	16(7)	34(3)	141(17)
合計	164(1)	20(7)	79(4)	70	40(2)	52(15)	109(3)	534(34)	

※ ()内は平成30年度実績

### (3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすための、チラシや広報紙の作成などの広報活動の支援や、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

内容	件数
チラシの作成支援	40 件
広報紙等による支援	4 件
出前講演の実施	47 回
新規福祉協力員等の確保	40 人
サロン拠点開設カ所数	26 カ所

### (4) 協議体の移行支援・運営支援

地域だけでは、解決の難しい課題について、北九州高齢者福祉事業協会との地域における公益的取組の推進に関する協定等を活用し、社会福祉施設等地域の関係団体との連携を図りながら、地域の話し合いの場の充実への支援を行いました。

① 協議体への運営支援 118 回、延べ 2,701 人

### (5) 地域資源の組織化・継続的な活動支援

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合等に参画し、サロン活動の立ち上げ支援及び校(地)区社協等と社会福祉施設との協働の促進、地域の福祉課題に対する継続的な支援及び相談対応を実施しました。

① 相談件数

	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
個別相談に関する相談件数	82	106	31	40	18	77	8	362
互助活動に関する相談件数	121	258	326	115	99	76	25	1,020

② 社会福祉施設との連携状況

内容	件数
相談件数（施設から）	18 件
相談件数（その他から）	67 件
コーディネート件数（連絡調整会議等へ）	65 件
コーディネート件数（サロン活動等へ）	18 件
コーディネート件数（その他へ）	27 件

## 2 地域における見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との会合や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

### 3 区役所関係課との連携業務

配置場所の区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係）をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

### 4 研修会等への参加

地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした、コーディネーターとしての資質向上を図るため下記の研修を実施または参加しました。

実施日	人員・会場	内容
H30.10.22 ～ H30.10.23	1人 灘尾ホール	「生活支援コーディネーター研究協議会」 「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」 ①地域包括ケアシステムの実現に向けた実践の到達点と課題 ②地域共生社会の実現に向けて求められる実践～私たちが目指してきたこと、これから目指すこと～ 他
H30.11.14	5人 福岡県農村整備センター	「福岡県生活支援コーディネーター初任者研修」 ①生活支援コーディネーター及び協議体とは ②生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割 ③生活支援コーディネーターが行うアセスメントと支援の視点及び地域アセスメントの手法について ④サービス開発の方法
H31.2.5	11人 福岡県中小企業振興センター	「福岡県地域支援コーディネーターステップアップ研修」 ①セキュリティ・オブ・コミュニティ活動の概要 ②ニーズ把握の方法について ③ワールドカフェ手法のセキュリティ・オブ・コミュニティ活動への活かし方

### 5 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を定例開催しました。

実施日	4/20	5/16	6/20	7/18	8/24	9/20	10/17	11/21	12/19	1/23	2/20	3/15
人員	32	21	15	22	23	21	24	23	21	24	21	29
主要議題	1 事業進捗状況及び推進方法等について 2 行政からの連絡事項等 3 連絡事項・情報提供 4 報告、その他											

# ◇地域生活支援活動推進事業

公的な福祉サービスだけでは対応の難しい、制度の狭間にいる人の生活支援ニーズに対応していくため、地域住民による生活支援活動の担い手を増やすとともに、地域住民による生活支援活動が円滑に行われるよう、生活支援ニーズと生活支援活動の需給調整や校(地)区社協活動の充実支援を行う地域生活支援相談員を平成30年度は2校(地)区に配置しました。

生活支援活動の需給調整に加え、校(地)区社協の福祉協力員や民生委員・児童委員と連携して、要支援者や生活支援ニーズを把握するとともに、ニーズ対応チーム(お助け隊等)の再構築のための支援も行いました。

## 1 地域生活支援相談員の配置

平成30年度は2校(地)区に地域生活支援相談員を配置しました。

- ①若松区高須地区(平成30年12月から、市民センターに配置)
- ②門司区庄司校区(平成31年3月から、庄司公民館に配置)

## 2 生活支援活動の需給調整

### (1) 生活支援活動の担い手の発掘

地域で生活支援活動を行っている住民や活動希望のある住民の相談・把握を行い、校(地)区社協等の活動者としてつなぎ、活動の場を提供することで、生活支援活動の担い手の把握・発掘を行いました。

- ①活動希望の相談 14件
- ②新規活動者の把握 14人

### (2) 要支援者の相談・把握及び生活支援ニーズの把握

福祉協力員や民生委員・児童委員と連携して、要支援者の把握をするとともにその生活支援ニーズを把握する訪問や相談を行いました。

#### ■相談内容別相談件数

内容	ゴミだし	掃除	同行	代行	電球交換	家具移動	荷物整理	家具修理	その他	合計
件数	9件	6件	5件	9件	1件	9件	1件	3件	25件	68件

※地域生活支援相談員による訪問相談 18件

### (3) 生活支援活動の需給調整(マッチング)

把握した要支援者やその生活支援ニーズに対して、適当な生活支援活動を実施している校(地)区社協等地域の生活支援活動や行政・民間サービスにつなぐ需給調整(マッチング)を行いました。

#### ■需給調整(マッチング件数)

調整先	校(地)区社協	地縁団体	行政	民間サービス	合計
打診(件数)	47件	9件	2件	2件	60件
完了(件数)	41件	8件	2件	2件	53件

#### ■マッチングを行った地域の生活支援活動

内容	ゴミだし	掃除	同行	代行	電球交換	家具移動	荷物整理	家具修理	その他	合計
件数	8件	3件	5件	9件	1件	7件	1件	3件	3件	40件

## ◇北九州市社会福祉大会

改正社会福祉法が平成30年4月に施行され、「ニッポン一億総活躍プラン」の中で住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに築いていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指していこうとしています。

今後の社協は、行政や関係団体・機関とのパートナーシップ及び地域におけるプラットフォームとしての役割を強化・再構築していくことで、改めて協働の中核としての役割と機能を示していくことが求められます。

本大会は、これからの地域共生社会の実現に向けて、市民及び福祉関係者等が一堂に会し、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、本市における福祉活動のさらなる普及と社会福祉の一層の充実を図ることを目的として開催しました。

実施日	人員・会場	内容
H30. 10. 28	496人 ウェルとばた	<b>【記念式典】</b> 北九州市社会福祉協議会会長表彰 他 <b>【記念講演会】</b> 「高齢者も障害者も子どもも自分らしく輝けるまちづくりを目指して」 NHK解説委員 飯野 奈津子 氏 <b>【健康セミナー】</b> 「健康寿命を伸ばしたい！座ったままで介護予防」 認知症支援・介護予防センター 健康運動指導士：坂田 晴矢 氏



# ◇生活福祉資金

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと民生委員を通じた必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図りました。

## 1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
総合支援資金	生活支援費	1	2	2	2	0	1	0	1	0	0	0	1	10	
		246	1,032	560	680	0	121	0	220	0	0	0	300	3,159	
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一時生活再費	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	0	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204		
福祉費	住宅増改築経費	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3	
		0	0	0	0	897	0	0	0	200	0	1,107	0	2,204	
	福祉用具購入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	540	
	障害者自動車購入経費	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	
		0	0	0	0	0	1,900	0	1,000	0	0	0	0	2,900	
	住居の襖・給排水設備	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
		0	0	0	0	0	380	272	0	0	0	0	0	652	
	日常生活上一次的経費	3	3	1	5	14	2	2	2	2	1	2	0	0	35
		231	190	90	467	1,137	138	154	206	100	153	0	0	2,866	
緊急小口資金	10	4	10	5	7	6	2	10	5	4	3	1	67		
	947	400	1,000	500	700	600	200	866	432	370	300	100	6,415		
教育支援資金	教育支援費	0	0	0	0	0	0	2	5	4	6	15	5	37	
		0	0	0	0	0	0	1,000	7,884	1,026	3,894	2,872	2,568	19,244	
	就学支度費	1	0	0	0	0	0	1	4	4	8	18	6	42	
	448	0	0	0	0	0	0	3,240	1,011	889	2,162	5,277	1,085	14,112	
不動産担保生活資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		16	11	13	12	22	11	8	23	15	20	37	13	201	
		2,412	1,826	1,650	1,647	2,734	3,139	4,866	11,187	2,647	6,579	9,556	4,053	52,296	
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 申請(承認)の件数、金額

注2) 福祉資金の、生業費、技能習得費、住宅増改築経費、福祉用具購入費、障害者自動車購入費、療養費、就職・技能習得支度費、災害援護資金、不動産担保型生活資金は本年度申請なし

# ◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、福祉年金、脱退一時金、遺族一時金の支給等の共済事業と、福利厚生事業として、給付事業、貸付事業のほか、様々なスポーツ観戦、演劇鑑賞、音楽鑑賞、宿泊事業等を実施しました。

また、加入者数は、年々増加傾向にあり、多くの方々が利用され、従事者とその家族の福利の充実に資することができました。

## 1 共済加入状況の推移

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
加入施設・団体	209	213	217	215	217
加入人員（人）	4,539	4,674	4,739	4,785	4,917

## 2 福利厚生事業実施状況

### (1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金  
(計 341 件、3,297,000 円)

### (2) 貸付事業

厚生貸付、結婚貸付、入学貸付 (0 件)

### (3) スポーツ観戦事業 (1 組 2 席)

ソフトバンクホークス公式戦 40 組  
(個人負担額 300,000 円、助成金額 200,000 円)  
ギラヴァンツ北九州ホーム戦 16 組  
(個人負担額 33,600 円、助成金額 22,400 円)

### (4) 演劇鑑賞事業 (1 組 2 席)

北九州芸術劇場等 4 演目 36 組 (個人負担額 221,100 円、助成金額 147,400 円)

### (5) 音楽鑑賞事業 (1 組 2 席)

北九州ソレイユホール等 1 演目 6 組  
(個人負担額 28,800 円、助成金額 19,200 円)

### (6) 宿泊事業

九州北部豪雨復興支援企画 日帰り温泉食事プラン  
原鶴・筑後川地区(4 施設対象)  
(個人負担額 704,000 円、助成金額 448,000 円)

### (7) 家庭用常備薬斡旋事業

1 回目 (4 月) 申込施設数 63 施設、申込件数 238 件、申込金額 828,290 円  
2 回目 (9 月) 申込施設数 66 施設、申込件数 230 件、申込金額 834,310 円

## 3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 20	28 名 ウェルとばた	【テーマ】『職場を元気にするコミュニケーション術』 【講師】OK 牧場 代表 TA 教育コンサルタント 山下 志保 氏

## ◇各施設協議会等との連携

### 1 各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的取組や地域公益事業の推進

平成 30 年度は、地域における公益的な取組みの推進に関する協定に基づき、北九州高齢者福祉事業協会と協働し、校(地)区社協と施設の連携による小地域福祉活動の充実・強化に努めました。

また、災害時における相互協力体制についての市・区・校(地)区社協との連携・協働のあり方や福祉の職場の人材確保等について協議しました。

#### (1) 校(地)区社協と社会福祉施設の連携状況 (区別)

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
校(地)社協数	11	2	2	1	3	2	5	26
施設数	6	3	2	2	2	2	5	22

#### (2) 「地域における公益的な取組の推進に関する協定」効果的な推進に向けた取り組みに関する意見交換会の実施

実施日	人員	内容
H30. 7. 13	32 人	<b>【議題】</b> 1 地域における公益的取組の考え方について 2 平成 29 年度の実施状況及び課題について 3 平成 30 年度以降の取り組みについて

#### (3) 社会福祉充実計画地域協議会の運営

実施日	人員	内容
H30. 7. 24	6 人	<b>【議題】</b> 1 北九州市社会福祉法人地域協議会正副委員長の選任について 2 北九州市社会福祉法人地域協議会の取り組みについて
H31. 1. 16	5 人	<b>【議題】</b> 1 20 政令市地域協議会等の設置状況について 2 社会福祉法人の地域公益事業、地域活動の取り組みについて 3 次年度北九州市社会福祉法人地域協議会について

### 2 社会福祉施設協議会連絡会の開催

種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深める目的で、市内の各社会福祉施設協議会等の連絡会を開催しました。

(1) 実務者会議

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 28	5人 ウェルとばた	<b>【議題】</b> 1 各関係施設との地域における公益的な取組及び災害時における相互協力に向けた連携・協働について 2 社会福祉施設の人材確保について (1) 北九州市福祉人材バンクの取り組みについて (2) 北九州市民間社会福祉事業従事者共済事業の充実について (3) 北九州市社会福祉大会における表彰制度について 3 大都市社会福祉施設協議会について
H31. 2. 4	6人 ウェルとばた	<b>【議題】</b> 1 各種別協議会との地域における公益的な取組に向けた連携・協働について 2 北九州市社会福祉大会について (1) 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会表彰について (2) 平成31年度北九州市社会福祉大会について 3 第62回大都市社会福祉施設協議会（札幌市大会）について

(2) 代表者会議

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 19	4人 ウェルとばた	<b>【報告】</b> 1 第61回大都市社会福祉施設協議会福岡市大会について 2 社会福祉施設協議会連絡会（第11・12回）について <b>【議題】</b> 1 第62回大都市社会福祉施設協議会札幌市大会について 2 各種別協議会との地域における公益的な取組に向けた連携・協働について 3 北九州市社会福祉大会について (1) 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会表彰について (2) 平成31年度北九州市社会福祉大会について

3 第61回大都市社会福祉施設協議会福岡市大会への参加

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 7 ～ H30. 6. 8	17人 ヒルトン福岡 シーホークホ テル	<b>【基調講演】</b> 「大都市における社会福祉施設の役割と期待～地域共生社会の実現に向けて～」 大分大学福祉健康科学部学部長 衣笠 一茂 氏 <b>【種別研究会】</b> <b>【交流会】</b> <b>【特別講演】</b> 「私の経営理念 ～人を活かす経営～」 株式会社ふくや代表取締役会長 川原 正孝 氏

#### 4 各種別社会福祉施設協議会会議への参画

- ・北九州市児童養護施設協議会施設長会（9回）
- ・北九州高齢者福祉事業協会施設長会（1回）
- ・北九州市障害者施設協議会定例会（1回）
- ・北九州市保育所連盟理事会（1回）

## ◇民生委員互助共励事業

全国の民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

### 1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	1	2	9	19	22	1	54
金額 (千円)	0	30	60	135	188	104	100	617

### 2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 平成29年度～平成30年度の2年間
- (2) 指定地区 小倉南区：田原地区民生委員児童委員協議会  
若松区：青葉地区民生委員児童委員協議会

# ◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全7区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

## 1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

### (1) 事業の周知及び広報

#### ①区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
門司区社協広報紙	1回（5/15）	区内全戸配布等
小倉北区社協広報紙	2回（7/15、10/15）	
小倉南区社協広報紙	4回（4/15、7/15、10/15、1/15）	
若松区社協広報紙	2回（6/15、2/15）	
八幡東区社協広報紙	2回（4/15、1/15）	
八幡西区社協広報紙	1回（4/15）	
戸畑区社協広報紙	1回（10/15）	

### (2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用の他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

#### 【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

- ①市及び各区の行政関係機関 7団体
- ②社協関係（市：1、区：7、校(地)区：155）
- ③民児協関係（地区民児協：133）
- ④その他の関係機関 20団体

### (3) 職員の研修

国の研修を受講した職員等が講師役となり、従事予定者研修や定期的な相談支援員連絡会を行って、他法他施策の理解、相談援助技術の向上に努めました。

また、生活福祉資金貸付コーナー、福祉人材バンクの職員その他、任意事業受託団体の職員にも参加を呼びかけ、実施しました。

#### ①相談・就労支援員連絡会

実施日	人員	会場	内容
H30. 4. 17	31人	ウエルとばた	相談援助技術向上のための研修、事例検討、情報交換・共有等
H30. 5. 15	15人		
H30. 6. 19	10人		

H30. 7. 17	23 人	ウェルとばた	相談援助技術向上のための研修、事例 検討、情報交換・共有等
H30. 8. 21	12 人		
H30. 9. 18	12 人		
H30. 10. 16	12 人		
H30. 11. 20	10 人		
H30. 12. 18	15 人		
H31. 1. 15	11 人		
H31. 2. 27	11 人		
H31. 3. 20	10 人		
計	172 人	12 回	

② 自立相談支援事業従事者研修

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 3 ～H30. 7. 5	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会灘尾ホール	【前期】相談支援員養成研修
H30. 10. 17 ～H30. 10. 19	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会中央福祉学院	【後期】相談支援員養成研修
H30. 12. 5 ～H30. 12. 7	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会中央福祉学院	【後期】就労支援員養成研修

③ 自立支援事業従事者研修【講師として派遣】

実施日	人員・会場	内容
H30. 10. 29	相談支援員 2 人（講師） 福岡県粕屋総合庁舎	生活困窮者自立支援従事者 研修

④ 福岡県生活困窮者支援員ネットワーク準備のための研修会

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 11	相談支援員 2 人 リファレンス大博多ビル	県内の支援員のネットワー クづくりに向け、抱樸とグリー ンコープの主導による研 修会

⑤ 担当者会議

実施日	人員・会場	内容
H30. 11. 6	地域支援課 1 人 全国社会福祉協議会灘尾ホール	平成30年度 都道府県・指定 都市社会福祉協議会 生活困窮者自立支援事業担 当者会議

⑥ 全国研究交流大会

実施日	人員・会場	内容
H30. 11. 10 ～H30. 11. 11	相談支援員 2 人 熊本市	第5回生活困窮者自立支援全 国研究交流大会



## 2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

### (1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

### (2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政のいのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

### (3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

区	参加回数	人員（延べ数）	協議件数
小倉北	4回	105人	151件
小倉南	4回	83人	114件

## 3 成果

### (1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

### (2) 困窮者支援を通じた地域づくり

困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長・区社協事務局長会議（毎月）
- 市・区社協地域福祉活動担当者会議（1回）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（2回）
- 新任福祉協力員等研修（各区1回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）
- 民生委員・児童委員研修（適宜）

#### 4 相談受付支援状況

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計	
新規相談受付件数（総数）	145	404	277	80	110	457	70	1,543	
	全市に占めるその区の%	9.4%	26.2%	18.0%	5.2%	7.1%	29.6%	4.5%	100.0%
	月平均件数	12.1	33.7	23.1	6.7	9.2	38.1	5.8	128.6
	相談員一人当たり月件数	12.1	11.2	11.5	6.7	9.2	12.7	5.8	10.7
プラン作成件数（総数）	74	194	182	17	29	216	36	748	
	プラン策定率	51.0%	48.0%	65.7%	21.3%	26.4%	47.3%	51.4%	48.5%
就労支援対象者数 <small>（プラン期間中の一般就労を目標にしている）</small>	37	77	82	9	23	77	7	312	
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	15	19	18	2	4	13	1	72
	一時生活支援事業	0	7	0	0	1	0	0	8
	家計相談支援事業	60	162	157	13	15	194	30	631
	就労準備支援事業	2	9	8	3	4	2	1	29
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	13	11	6	16	19	6	71
その他	生活福祉資金による貸付	16	35	2	1	4	29	1	88
	生活保護受給者等就労自立促進事業	7	42	60	1	11	62	0	183
就労者数（一般就労総数）	24	51	30	4	14	57	10	190	
	うち就労支援対象プラン作成者分	13	30	30	2	12	45	3	135
増収者数（総数）	12	10	0	1	13	33	10	79	
	うち就労支援対象プラン作成者分	9	7	0	1	11	22	3	53

#### 5 共同事業体の運営

平成28年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

実施日	人員・会場	内容
H30.5.21	グリーンコープ3人 市社協5人 ウェルとばた	第1回運営委員会
H30.12.7	グリーンコープ5人 市社協5人 ウェルとばた	第1回業務会議
H30.2.27	グリーンコープ3人 市社協4人 ウェルとばた	第2回運営委員会

## ◇福祉人材バンク運営事業

福祉人材バンクでは、求人事業所と求職者とを結びつけるため、関係機関と連携を図りながら、福祉の仕事に関する相談や無料の職業紹介を実施しています。

求人及び求職状況は、依然として現在の雇用情勢における人材確保の難しさや、多様化・複雑化してきた福祉ニーズにおける人材のマッチングが課題となっています。特に、中高年齢層の求職者が増加傾向にあり、人材のすそ野の拡大を進めるために、多様な人材（中高年齢者や就業していない女性等）の参入促進を図る取り組みを進めました。

また、雇用の機会を拡大するため、求人者・求職者が一堂に会し面談を行う「福祉のしごと合同就職面談会」の開催や、介護福祉士やホームヘルパー等の資格を有しながら、介護職に就労していない潜在的な介護有資格者や、他分野からの離職等で介護現場への就労を希望する方を対象とした「介護のしごと就労支援セミナー」を行い、実技を中心に即戦力としての福祉人材の掘り起こしや育成に努め、就労だけでなく資格取得にむけた就学の支援にも努めました。

### 1 福祉人材無料職業紹介事業の実施

#### (1) 求人・求職等取扱状況

##### ①新規求人数、新規求職者数及び採用者数等（累計）

求 人				求 職			人材バンクを介した紹介件数	本人による直接応募件数	採用数	採用率*1
新規求人件数	新規求人数	相談件数	情報提供件数	新規求職者数	相談件数	情報提供件数				
987	2,466	987	1,805	282	315	1,293	59	6	19	29.2%

\*1:採用率=採用数/紹介数と応募数の和

##### ②有効求人数、有効求職者数および有効求人倍率（平均）

有効求人件数	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率*2
242	609	74	8.23

\*2: 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数

#### 【求人・求職等取扱状況の推移】

年度	求 人				求 職			人材バンクを介した紹介件数	本人による直接応募件数	採用数	採用率*1
	求人件数	求人数	相談件数	情報提供件数	求職者数	相談件数	情報提供件数				
H26	863	2,384	3,848		503	1,160		64	62	36	28.6%
H27	902	2,284	4,594		395	728		69	74	24	16.8%
H28	934	2,586	3,636		372	2,031		80	32	49	43.8%
H29	999	2,675	3,625		328	1,495		61	5	25	37.9%
H30	987	2,466	987	1,805	282	315	1,293	59	6	19	29.2%

- (2) 定期的な情報提供
  - ・求職者へ求人情報紙を送付（毎月1回）
  - ・各団体および求職者へ各種イベント等の案内を送付
- (3) 福祉資格等の取得促進支援
  - ・求職者への福祉資格取得及び研修受講等の情報提供
- (4) 福祉人材情報システム「福祉のお仕事」を活用した求人情報の提供及び利用促進

## 2 「福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州」の開催

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者 55人</li> <li>・求人施設等 57法人</li> <li>・採用数 8人</li> <li>・ウェルとばた</li> </ul>	求人事業所と求職者との面談 求職相談・登録 福祉の資格相談 京築地区福祉人材バンク 求職登録受付 介護労働安定センター相談
H30. 11. 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者 46人</li> <li>・求人施設等 66法人</li> <li>・採用数 5人</li> <li>・ウェルとばた</li> </ul>	
計（2回）	求職者 101人、求人施設等 123法人、採用数 13人	

### 【福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州 実績の推移】

年度	参加施設	求人件数	求人数	来場者数	紹介数	採用数
H26年度	101	358	1,043	175	36	16
H27年度	101	356	917	161	44	16
H28年度	122	441	1,203	156	56	24
H29年度	140	524	1,334	152	39	14
H30年度	139	455	1,097	101	53	13

## 3 潜在的有資格者等就労支援事業「介護のしごと就労支援セミナー」の開催

実施日	人員・会場	就学者数	就職者数	内容
H30. 9. 4 9. 5 9. 6 9. 13	5人 ウェルとばた	2人	3人	<b>【講義：3日間】</b> 介護保険制度の概要、介護現場の現状について、労働法令の基礎知識、コミュニケーション能力、介護職のやりがいについて、介護技術実技実習等 <b>【施設見学・体験：1日間】</b> 1人1カ所の介護事業所を見学・体験

H31. 3. 2 3. 9 3. 16	19 人 ウェルとばた	1 人	1 人	【講義：2.5 日間】 介護現場の現状について、労働法令の基礎知識、介護技術実技実習、介護職のやりがいについて、コミュニケーション能力等 【施設見学：0.5 日間】 1 人 2 ヲ所の介護事業所を見学
計 (2 回)	24 人	3 人	4 人	

#### 4 行政・関係機関等との連携

- ・厚生労働省（事業の後援）
- ・中央福祉人材センター（事業支援、システム研修等）
- ・福岡県内福祉人材センター・バンク（事業の共催、県合同就職面談会への職員派遣等）
- ・北九州市（事業の共催・協力等）
- ・高齢者就業支援センター（情報提供）
- ・福岡県 70 歳現役応援センター（合同説明会への出展、相談窓口開設）
- ・福岡労働局（事業の後援、事業報告等）
- ・北九州高齢者福祉事業協会（事業の後援）
- ・北九州商工会議所（面談会の後援）
- ・北九州地域ハローワーク（求人情報の提供、面談会の後援と相談員の派遣）
- ・ハローワーク小倉（毎月第 2 火曜日 福祉人材バンク出張相談窓口開設）

#### 5 社会福祉施設・団体への支援

民間社会福祉事業従事者を対象とした職場のメンタルヘルス研修会の開催【再掲】

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 20	28 名 ウェルとばた	【テーマ】 『職場を元気にする コミュニケーション術』 【講師】 OK 牧場 代表 TA 教育コンサルタント 山下 志保 氏

#### 6 広報・啓発活動

- (1) 求人事業者・求職者の開拓
- ・福祉系の大学、高等学校、専門学校への情報提供
  - ・社会福祉施設・団体への情報提供

(2) 各種媒体の積極的活用

- ・広報紙：福祉のしごとへの理解や関心を高める広報、イベント情報の掲載（市政だより、市社協だより）
- ・ホームページ：イベント情報掲載（市社協、北九州市、全社協「福祉のお仕事」、社会福祉施設等）
- ・SNS：イベント情報掲載（市社協 Facebook、キタキュー就職ナビ、北九州しごと☆まるごと情報局、北九州雇用対策協会）
- ・新聞広告：イベント情報掲載（読売新聞、毎日新聞、西日本新聞：計 327,000 部）
- ・新聞折込広告：イベント情報掲載（292,570 部）
- ・FMラジオ出演（クロスFM「イブニングライン北九州」 7/3 放送）
- ・北九州市ホームページの活用

(3) 印刷発行物

- ・合同就職面談会（チラシ 13,000 部、ポスター800 枚）
- ・就労支援セミナー（チラシ 8,000 部、ポスター600 枚）
- ・人材バンク事業説明（事業所向け）（パンフレット 150 部）
- ・人材バンク事業説明（中高年齢層の求職者向け）（チラシ 1,000 部）

7 北九州市福祉人材バンク運営委員会

実施日	会場・人員	内 容
H30. 6. 19	10 人 ウェルとばた	・正副委員長の選任 ・平成 29 年度事業報告 ・平成 30 年度事業計画 ・意見交換

# ◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成28年4月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業を開始しました。

福祉人材の確保に資する取組みとして、福祉人材バンクに貸付相談窓口を設け、事業実施しました。

## 1 貸付の内容と実施状況

### (1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
34件	10,210,414円

### (2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
59件	12,746,875円

# ◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

平成 29 年 7 月から、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的に、高等職業訓練促進資金貸付事業を開始しました。

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学する方で、将来取得する資格が必要な業務に従事しようとする方に対して資金を貸し付け、その就学を容易にすることにより資格取得の促進を図っています。

## 1 貸付の内容と実施状況

### (1) 入学準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、資格の取得のために養成機関へ入学することになった場合に、入学準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
39 件	19,500,000 円

### (2) 就職準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、養成機関の課程を修了し、取得した資格が必要な業務に従事する場合、その就職に必要な準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
19 件	3,800,000 円



## ◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービスの質の向上を図ることを目的として、介護サービス相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者へサービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。

平成30年度は、新規に22カ所の事業所へ派遣を行い、合計111カ所へ相談員を派遣しました。

この拡大に伴い、介護サービス相談員の対応力の向上、利用者の生活の向上を支援するため、相談員の連絡会を4回開催しました。

平成28年度より参加している地域密着型デイサービスの運営推進会議において、今年度は市から委託された127事業所中参加依頼のあった154件のうち132件の運営推進会議に参加しました。

また、介護サービス相談員派遣事業事務局担当者が市町村介護相談員研修に参加し、相談事業の効果的な運営及び介護サービス相談員の質の向上を図るため、全国の市町村での実施状況や情報・意見交換を行いました。現任研修で学んだ内容は相談員連絡会で取り入れグループワークを行い、相談員間でも情報交換を行いました。

### 1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 伝えた 事業所 件数に
					事業所に伝えた 件数			相談者の希望に より伝えなかった 件数			
	回数	時間	人数	件数	つ い に 利 用 者 で	つ 施 い 設 に	そ の 他	つ い に 利 用 者 で	つ 施 い 設 に	そ の 他	
介護老人福祉施設	471	972:08	5,748	14,557	8	48	0	1	6	0	41
介護老人保健施設	93	198:05	1,289	3,034	15	21	0	1	1	0	26
認知症対応型共同生活介護	583	1069:00	4,616	14,734	6	7	1	0	0	0	34
介護療養型医療施設	35	63:40	172	968	0	3	0	0	0	0	4
小規模多機能型居宅介護	189	194:33	1,150	3,539	3	3	0	0	0	0	6
計	1,371	2497:26	12,975	36,832	32	82	1	2	7	0	111

### 2 過年度派遣事業の推移

実施年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	合計 (カ所)	相談員数 (人)
H26年度	39	6	20	3	50	2	10	130	92
H27年度	42	7	8	0	46	4	13	120	88
H28年度	44	6	0	0	51	3	17	121	94
H29年度	36	5	0	0	48	3	15	107	84
H30年度	38	9	0	0	46	3	15	111	80

### 3 新規派遣開始事業所

施設種別	新規派遣開始	継続派遣中	合計（カ所）
	H30.11～	(H30.4)	(H31.3)
介護老人福祉施設	5	33	38
介護老人保健施設	4	5	9
認知症対応型共同生活介護	10	36	46
介護療養型医療施設	0	3	3
小規模多機能型居宅介護	3	12	15
計	22	89	111

### 4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了事業所数	派遣年数	派遣期間
介護老人福祉施設	4	5年	H25.9～H31.3
認知症対応型共同生活介護	12	3年	H27.9～H31.3
小規模多機能型居宅介護	1	事業廃止	H29.1～H30.3
	3	3年	H27.9～H31.3
合計	20カ所		

### 5 介護サービス相談員構成

(単位：人)

内訳	男性	女性	合計
高齢者地域交流支援通所事業支援員 (市社協非常勤職員)	0	8	8
見守りサポーター	0	1	16
北九州市社会福祉協議会 退職職員	1	3	4
一般公募者(平成20年度より)	2	25	27
権利擁護・市民後見センター支援員	2	8	10
その他	0	15	15
計(平成31年3月末現在)	5	75	80

## 6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員・会場	内容
H30. 5. 23	53 人 ウェルとばた 2 階 多目的ホール	(1) 講義「傾聴についての心構え」 (講師) 傾聴ボランティアひだまりの樹 代表：毛利 暁子 氏 (2) 運営推進会議について (平成 29 年度の実績報告) 北九州市保健福祉局 介護保険課 地域密着型サービス係長 木村 智久 氏 (3) 連絡事項
H30. 8. 21	48 人 ウェルとばた 2 階 多目的ホール	(1) グループワーク テーマ：「不適切ケアを見る目を養う」 (事例) ① ブザー・ベル、鈴等の音のなるもの の使用について ② 排せつ介助について ③ 介護職員の利用者に対する言動につ いて (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 (2) 講評 北九州市保健福祉局 介護保険課 主任 山家 小百合 氏 (3) 連絡事項
H30. 10. 31	61 人 ウェルとばた 2 階 多目的ホール	(1) 講義「介護保険制度の概要について」 (講師) 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 亀石 貴治 氏 (2) 介護サービス相談員の活動内容について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 (3) 介護サービス事業所などへの就労に関して 北九州市社会福祉協議会 地域支援課 (4) 連絡事項
H31. 2. 13	53 人 ウェルとばた 2 階 多目的ホール	(1) 平成 30 年度永年活動功労者表彰 表彰対象者 23 名 表彰者代表 福竹 百合枝 氏 (2) 認知症サポーターステップアップ研修応用 編 (講師) 医療法人北愛会 介護老人保健施設 桜丘 管理部長 内野 宏二 氏 (3) 連絡事項
計	4 回 (215 人)	

## 7 研修・報告会

### (1) 平成 30 年度 市町村介護相談員派遣事業等事業事務局担当者研修

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 18	1 人 私学学館 アルカディア市ヶ谷	<b>【研修内容】</b> (1) 介護保険最新情報 (2) 介護相談員派遣等事業について (3) 平成 29 年度「身体拘束及び高齢者虐待の未然防止に向けた介護相談員の活用に関する調査研究」事業報告 平成 30 年度「調査研究事業」について (4) 虐待・身体拘束未然防止に向けた介護相談員の役割、不適切ケアを見分ける介護相談員の育成

### (2) 平成 30 年度 市町村介護相談員現任研修 I・II

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 26 ～ H30. 6. 29	1 人 A P 大阪駅前 梅田 1 丁目	<b>【研修内容】</b> <b>◆現任研修 I (6/26～6/27)</b> (1) 介護保険最新情報 (2) 不適切ケアを見る目を養う I (3) 不適切ケアを見る目を養う II (グループワーク) (4) 不適切ケア発見時の記録票・報告書の記入方法 (5) 自立支援につながる福祉道具(演習)正しい使い方のポイント (6) 市町村での実施状況、情報・意見交換等 (グループワーク) <b>◆現任研修 II (6/28～6/29)</b> (1) 介護保険最新情報 認知症(オレンジプラン)について (2) 認知症の人の行動観察とは、認知症の人の症状を理解する (3) 行動観察評価による情報整理と支援のあり方(グループワーク) (4) 相談活動のステップアップにむけて (グループワーク)

## 8 運営推進会議の参加状況

実施年度	事業所数	運営推進会議 参加依頼件数	運営推進会議 出席件数	参加率
H28 年度	143 箇所	76 件	68 件	90%
H29 年度	139 箇所	168 件	150 件	89%
H30 年度	127 箇所	154 件	132 件	86%

## ◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

平成 30 年度は、認知症サポーター養成講座受講者 6,615 人、認知症サポーターステップアップ講座受講者 493 人、合計受講者 7,108 人、平成 30 年度末現在の認知症サポーターの累計が 87,196 人となりました。

### 1 認知症サポーター養成講座実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	17 回	577 人
	社協関係	31 回	1,077 人
	その他	61 回	1,838 人
企業		50 回	1,647 人
学校		17 回	830 人
行政		21 回	666 人
計		197 回	6,615 人

### 2 認知症サポーターステップアップ講座実施状況

団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	3 回	199 人
	社協関係	4 回	164 人
	その他	2 回	30 人
企業		2 回	34 人
学校		1 回	66 人
行政		0 回	0 人
計		12 回	493 人

### 3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等
北九州市ホームページ
社会福祉協議会のふくし出前講演「パンフレット掲載」
市社協ホームページ事業概要
市・区社協各部署
市政だより
北九州市社協だより・各区区社協だより
認知症啓発月間 街頭啓発
コムシティ入居団体
メール配信システム

#### 4 キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 19	42人 総合保健福祉センター	1 講義「本市の現状と認知症施策等について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター 2 基調説明 「認知症サポーター養成講座の開催について」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 3 グループ討議 「これからの活動に向けて」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
H30. 11. 21	10人 ウェルトばた	1 基調説明「本市の現状と認知症施策等について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター 2 事業説明 「認知症サポーター養成講座の開催、基本構成について」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 3 講義・グループワーク 「認知症サポーター養成講座の進め方」 「カリキュラムの作り方」 (講師) キャラバン・メイト 石井朱實 氏
H31. 3. 8	15人 ウェルトばた	1 講義「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」 (講師) 福岡県保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課 2 講義・グループワーク 「認知症のケアメソッドを知る」 (講師) (有)故郷ふれあい家族 代表取締役 野村美代子 氏

#### 5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人数
H30. 6. 7	ウェルトばた	基礎編：山本 美江子氏	56人
		応用編：花田 辰江 氏	52人
H30. 8. 22	ウェルトばた	基礎編：長崎 修二 氏	24人
H30. 10. 27	総合保健福祉センター	基礎編：山下 兼王 氏	28人
		応用編：伊藤 千里 氏	24人
H30. 12. 9	八幡西生涯学習総合センター	基礎編：猪熊 和仁 氏	31人
		応用編：和田 洋臣 氏	34人

#### 6 他団体へのチラシによる周知

名称	配布件数(計)	配布部数
認知症について学ぶ講座(基礎編・応用編) チラシ	14件	2,288部
認知症キッズサポーターチラシ	4件	26部

#### 7 メール配信サービス状況

登録者数				配信回数		
男性	女性	計	前年度より増加	行方不明者情報	認知症関連イベント情報	計
2,060人	2,950人	5,010人	452人	9回	13回	22回

## ◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」(有償ボランティア)を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

### 1 派遣状況等

実施年度	新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
H28年度	9	7	15	176
H29年度	15	13	24	134
H30年度	8	8	8	204

### 2 関係機関等との連絡調整

相手先	内容	申請方法	利用内容 活動内容	その他	合計
家族		7	109	0	116
サポーター		0	157	0	157
ケアマネジャー		7	7	7	21
地域包括等		14	14	14	42
その他(市民等)		1	1	1	3
計		29	288	22	339

### 3 過年度利用状況の推移

実施年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
H26年度	60人	114人	50人	385回
H27年度	51人	124人	47人	394回
H28年度	46人	59人	53人	176回
H29年度	35人	55人	55人	134回
H30年度	35人	96人	49人	204回

#### 4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 18	20人 ウエルとばた	(講義)「認知症の理解と対応～よい接し方上手な関わり方～」 講師：介護老人福祉施設伸寿苑 在宅介護支援センター 看護師係長 相島 佐智子 氏 ・講義後、認知症の改善に役立つといわれている“回想法”を学んだ。利用者と楽しく過ごすことができる大変好評であった。
H31. 1. 31	21人 ウエルとばた	(講義)「BPSDへの理解を深めよう～“困った”を解決して笑顔で過ごす楽しい時間～」 講師：日本赤十字社福岡県支部 特別養護老人ホーム豊寿園 介護課長 奥水 薫 氏 通所介護係長 荒木 美奈 氏 ・BPSDへの理解と対応の仕方を学んだ。日頃から認知症高齢者との関わりがある、講師2人による実演を交えての講義は、とてもわかり易く、サポーターにとって大変よい学びとなった。

#### 5 事業説明・紹介

内容	回数	人員
年長者研修大学校	6回	371人
校(地)区社協関連会議	10回	548人
居宅・医療・施設	10回	351人
家族の会等	1回	20人
民生委員児童委員	0回	0人
住民	33回	1,229人
企業	10回	676人
市・区社協各部署	14回	1,412人
地域包括(統括)支援センター	8回	379人
学校(学生)	3回	78人
その他	5回	272人
区社協だより掲載	5回	
合計	100回	5,336人



## 6 チラシ・報告書等の作成

名称	発行部数	発行日等
高齢者見守りサポーター派遣事業（リーフレット）	3,000	H30. 6.15

## 7 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数(電話回答含む)	未回答数	回答率
H31. 2. 14	30	28	3	93%
<p>(調査結果概要)</p> <p>今回は登録者（平成 30 年度新規登録者と現在利用中の方を除く）を対象にアンケートを実施した。</p> <p>1. 未利用の理由として、①介護保険で対応 7 人(25%) ②家族の介護で対応 12 人(43%)          ③状態が落ち着いている 4 人(14%) ④施設入所 7 人(25%) ⑤その他 3 人(11%)</p> <p>2. 今後の利用については、①すぐに利用再開 0 人(0%) ②しばらくして利用 2 人(7%)          ③いまのところ利用の予定なし 20 人(71%) ④取消希望 6 人(21%)</p>				

## 8 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
H31. 2. 7	54 人 (H31. 2. 7 現在)	49 人 (H31. 4. 1 現在)	5 人

## ◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成12年から北九州市より受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の65歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを提供することを目的に、市内50カ所の市民センターにおいて実施しました。

特徴的な取り組みは、運動指導士による「運動器の機能向上」、管理栄養士による「栄養改善」、歯科衛生士による「口腔機能向上」を複合的に行う介護予防プログラムで、月2回実施し、平均年齢81.1歳、約700人の高齢者、延べ11,810人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

プログラムについては、昨年に引き続き利用者が企画・立案を行い実施する自主企画というプログラムを実施することで、より主体的に利用者が参加できるよう努めました。各市民センターのプログラムの実施状況等は毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題に対しては、ミーティングや支援員会議、年2回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

### 1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	93	16	1,145	0	1,145	12.3
	清見	89	6	471	0	471	8.1
	白野江	90	13	1,018	0	1,018	11.3
	錦町	93	11	770	0	770	8.3
	萩ヶ丘	93	14	1,046	75	971	11.2
	松ヶ江北	93	15	1,172	145	1,027	12.6
	丸山	93	8	734	0	734	7.9
小倉北区 ⑨	足原	89	7	501	0	501	5.6
	足立	89	18	1,246	0	1,246	14.0
	今町	88	19	1,315	115	1,200	14.9
	清水	93	24	1,694	100	1,594	18.2
	寿山	89	15	1,165	0	1,165	13.1
	中島	89	12	974	0	974	10.9
	西小倉	88	11	705	14	691	8.0
	南小倉	93	9	625	46	579	6.7
	井堀	93	9	739	0	739	7.9
小倉南区 ⑨	長行	90	11	818	59	759	9.1
	葛原	93	14	995	242	753	10.7
	曾根	91	23	1,853	166	1,687	20.4

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
小倉南区 ⑨	長尾	93	15	908	94	814	9.8
	貫	93	11	755	0	755	8.1
	東朽網	93	13	1,047	168	879	11.3
	守恒	93	10	671	63	608	7.2
	湯川	88	14	908	198	710	10.3
	若園	93	12	1,160	235	925	12.5
若松区 ⑤	赤崎	93	13	907	0	907	9.8
	高須	93	9	727	0	727	7.8
	深町	93	13	1,017	74	943	10.9
	二島	93	8	599	0	599	6.4
	若松中央	93	10	761	0	761	8.2
八幡東区 ⑤	枝光	86	15	908	112	796	10.5
	枝光南	93	9	725	135	590	7.8
	尾倉	93	10	809	0	809	8.7
	槻田	88	15	1,139	277	862	12.9
	前田	93	12	1,050	0	1,050	11.3
八幡西区 ⑪	青山	93	17	1,412	110	1,302	15.2
	赤坂	86	12	935	0	935	10.9
	浅川	93	14	1,207	0	1,207	13.0
	池田	93	11	927	0	927	10.0
	永犬丸	90	19	1,339	0	1,339	14.9
	大原	87	17	1,302	0	1,302	15.0
	楠橋	90	27	2,232	176	2,056	24.8
	木屋瀬	93	11	825	6	819	8.9
	塔野	93	18	1,342	93	1,249	14.4
	鳴水	93	12	860	0	860	9.2
	本城	93	8	626	4	622	6.7
戸畑区 ④	大谷	92	14	993	0	993	10.8
	浅生	92	9	750	0	750	8.2
	中原	90	10	896	0	896	10.0
	牧山東	92	12	934	0	934	10.2
計 (50 館)		4,570	655	49,657	2,707	46,950	10.9

## 2 過年度利用状況の推移

実施年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均 利用数
H26 年度	50	703	4,649	52,262	11.2
H27 年度	50	714	4,688	53,765	11.5
H28 年度	50	703	4,583	53,046	11.6
H29 年度	50	690	4,616	52,598	11.4
H30 年度	50	655	4,570	49,657	10.9

## 3 介護予防プログラム

内容	1館あたりの 年間回数	延実施回数	延参加者数
運動器の機能向上プログラム	18	900	9,806
栄養改善プログラム	2	100	949
口腔機能向上プログラム	2	100	1,055
計	22	1,100	11,810

## 4 研修会

実施日	人員・会場	内容
H30. 4. 18 ～H31. 3. 29 の間で延べ 9回	9人 (対象：新採職員) 市民センター	平成30年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
H30. 12. 11 H30. 12. 12	150人 ウェルとばた	平成30年度支援員現任研修 ・テーマ1「これからの高齢者地域交流支援通所事業について」 (講師) 北九州市保健福祉局 地域福祉部 長寿社会対策課 在宅高齢者支援係長 吉藤孝一郎 氏 ・テーマ2「いつまでも美味しく食べるために お口の元気体操」 (講師) 11日 歯科衛生士 本田恵利 氏 12日 歯科衛生士 清末清美 氏 ・テーマ3「次年度に向け高齢者地域交流支援 通所事業を効果的に運営していく ために」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
計 (11回)	159人	

## 5 会議

会議名	実施回数	内容
生活福祉課定例会	12回	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
支援員会議 (会議形式)	2回	事務局、指導員、支援員による情報交換、連絡調整等
ミーティング	600回	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング(各市民センター月1回、2時間程度)
計	614回	

## 6 全体行事

「年長者作品展」への出展

区	実施日	会場	内容
門司	H30. 10. 11 ～H30. 10. 13	旧大連航路上屋 多目的スペース	高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で、利用者が制作した様々な作品を、各区社協主催の「年長者作品展」に出展
小倉南	H30. 9. 11 ～H30. 9. 15	小倉南生涯学習センター 2階 展示コーナー	
若松	H30. 10. 15 ～H30. 10. 17	若松区役所 3階特別会議室	
八幡東	H30. 9. 3 ～H30. 9. 7	八幡東区社会福祉センター 3階 研修室	
八幡西	H30. 9. 18 ～H30. 9. 23	コムシティ3階 北九州市立美術館黒崎市民 ギャラリー	
戸畑	H30. 9. 21 ～H30. 9. 24	戸畑生涯学習センター 1階 市民ギャラリー	
計		6回	

## 7 指導員による業務支援

種別	回数	内容
指導員の話	59回	指導員による共通テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕介護予防、共同募金、高齢者のための 便利なサービス等
プログラム運営支援	503回	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	2,021回	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	91回	支援員の休務の際のバックアップ
計	2,674回	

## 8 各種交流事業

種別	回数	人員	内容
世代間交流	128回	1,222人	レクリエーション、地域の子どもたちとの交流 他
地域・団体との交流	56回	645人	センターまつり、文化祭、避難訓練、他
計	184回	1,867人	

## 9 実習生の受け入れ

実施日	人員・会場	内容
H30. 5. 11 H30. 5. 21 H30. 6. 22 H30. 12. 17	九州歯科大学学生 25人 市民センター	九州歯科大学実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
H30. 8. 20 H30. 9. 3	大学生7人 ウェルとばた 市民センター	平成30年度相談援助実習 ・講義「生活福祉課事業概要」について ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加 (県内の4大学より受け入れ)
計	32人	

## 10 支援員面接選考

実施日	会場	内容
H30. 6. 19 ～H31. 3. 27 の間で延べ5回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

## 11 広報・啓発

内容	実施回
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	15回
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募集	11回
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員募集	7回
計	33回

## ◇健康マイレージ事業

健康マイレージ事業は、生涯を通じた健康づくりを推進するため、40歳以上の市民を対象に、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや各種健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進することを目的としています。

この事業は、平成21年度から始まりましたが、当初3年間は市が直接実施し、平成24年度から社協が受託しました。本年度については、応募ポイントの変更などがありました。20,061人の方のご応募をいただきました。

その具体的な取り組みとして、パンフレット等の広報啓発物を用いたPRや職員による出前形式の事業説明を延べ1,984回実施するとともに、ホームページでのブログの更新、社協だよりや市民センターだよりなど広報紙への掲載、本会賛助会員企業を主体とした民間企業へのPRなど、社協の組織力を十分に活用した幅広い活動を行いました。

また、校(地)区社協の福祉協力員等を主体に、見守り対象者への健康づくり活動等への参加の呼びかけを行い、「ふれあいネットワーク活動」の充実強化にも努めました。

### 1 実施状況

#### (1) 実施期間

- ① 準備期間：平成30年4月1日～平成30年5月31日
- ② ポイント配付期間：平成30年6月1日～平成31年3月4日
- ③ 対象事業期間：平成30年6月1日～平成31年3月4日
- ④ 応募受付期間：平成30年10月1日～平成31年3月4日

#### (2) 広報・啓発活動等実施実績

##### ① 事業説明・パンフレット等配布実績

項目	H30年度	H29年度	増減
事業説明回数	1,984回	2,045回	▲61回
パンフレット配布数	208,374部	221,092部	▲12,718部
ポイントシール配付数	450,529部	484,781部	▲34,252部
対象事業一覧表配布数	8,024部	8,189部	▲165部

##### ② 広報紙等への掲載回数実績

掲載紙の種別	H30年度	H29年度
市政だより・区役所の発行する広報紙	9回	9回
市民センターだより	294回	341回
市社協・区社協・校(地)区社協の発行する広報紙	23回	24回
その他の地域団体、企業が発行する広報紙	2回	4回
新聞・フリーペーパー	0回	0回
計	328回	378回

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| ③ ホームページへの掲載（対象事業一覧表、活動報告等） | 72 回    |
| ④ ブログ『マイレージ通信』への掲載          | 31 回    |
| ⑤ ブログ『マイレージ通信』へのアクセス回数      | 1,803 回 |
| ⑥ のぼり（大）作成                  | 0 枚     |
| ⑦ コーディネーター等によるイベント・事業でのPR活動 |         |

実施日	会場	人員	イベント・事業名
H30.10.28	ウェルとばた	12 人	社会福祉大会・市民ふれあいフェスティバル

(3) 対象事業登録実績

区分（事業登録者）	H30 年度	H29 年度	増減
行政	198	150	48
保健福祉局	20	40	▲20
健康推進課	6	20	▲14
長寿社会対策課	4	3	1
障害福祉課	0	0	0
介護保険課	0	0	0
その他	10	17	▲7
門司区役所	10	8	2
小倉北区役所	2	6	▲4
小倉南区役所	3	4	▲1
若松区役所	10	9	1
八幡東区役所	15	17	▲2
八幡西区役所	0	2	▲2
戸畑区役所	7	10	▲3
その他の市関係局	131	54	77
関係団体等	145	129	16
体育協会・レクリエーション協会	43	47	▲4
三師会	9	9	0
各種講座・教室（カルチャーセンター等）	93	73	20
スポーツクラブ	4	4	0
市社協	76	60	16
企業	19	16	3
地域住民事業（区・校区社協含む）	3,885	4,139	▲254
門司区	425	439	▲14
小倉北区	530	541	▲11
小倉南区	795	917	▲122
若松区	362	384	▲22
八幡東区	326	355	▲29
八幡西区	1,139	1,176	▲37
戸畑区	308	327	▲19



市民センター	2,302	2,538	▲236
門司区 (19)	402	429	▲27
小倉北区 (22)	315	350	▲35
小倉南区 (24)	382	447	▲65
若松区 (10)	195	206	▲11
八幡東区 (13)	246	244	2
八幡西区 (33)	610	685	▲75
戸畑区 (12)	152	177	▲25
計	6,629	7,036	▲407

※市民センターの（ ）内は、サブセンターを含むセンター数

#### (4) 校(地)区社協による啓発活動実績

活動期間：平成30年6月1日～平成31年2月28日

区社協	校(地)区社協数	啓発活動回数合計 (回)					活動費交付額 (円)
		事業登録	連絡調整	広報	参加促進	計	
門司	21	666	342	431	2,116	3,555	1,050,000
小倉北	25	585	615	602	2,450	4,252	1,250,000
小倉南	27	688	580	470	3,571	5,309	1,349,500
若松	14	209	226	291	1,293	2,019	700,000
八幡東	21	360	368	228	5,036	5,992	1,050,000
八幡西	33	847	918	1,501	3,957	7,223	1,648,000
戸畑	14	266	239	285	1,185	1,975	700,000
計	155	3,162	3,288	3808	19,608	30,325	7,738,500

## 2 応募者実績

### (1) 応募件数推移

項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
応募総数	25,166	27,751	22,236	20,959	20,465
有効件数	24,579	27,104	21,750	20,573	20,061
無効件数	587	647	486	386	404
前年比 (有効件数)	120%	110%	80%	94.6%	97.5%

※無効件数は、年齢非対象、重複応募等、内容未記入等のもの。

### ア 性別応募者実績

性別	H30年度	H29年度	増減	前年比
男性	6,256	6,497	▲241	96%
女性	13,805	14,076	▲271	98%
計	20,061	20,573	▲512	98%

イ 区別応募者実績

区等	H30 年度				H29 年度 (計)	増減	前年比
	男	女	計	割合			
門司	671	1,525	2,196	10.9%	2,357	▲161	93%
小倉北	883	2,151	3,034	15.1%	3,041	▲7	99%
小倉南	1,308	2,674	3,982	19.8%	4,175	▲193	95%
若松	447	1,094	1,541	7.7%	1,670	▲129	92%
八幡東	571	1,226	1,797	9.0%	1,740	57	103%
八幡西	1,869	3,958	5,827	29.1%	5,828	▲1	99%
戸畑	482	1,155	1,637	8.2%	1,723	▲86	95%
市外	25	22	47	0.2%	39	8	120%
計	6,256	13,805	20,061	100%	20,573	▲512	97%

※市外の応募者は、市内在勤の本人確認をした人数を計上。

ウ 年齢別応募者実績

年齢	H30 年度			
	男	女	計	割合
40～49 歳	524	1,038	1,562	7.8%
50～59 歳	545	1,183	1,728	8.6%
60～64 歳	348	899	1,247	6.2%
65～69 歳	828	2,090	2,918	14.5%
70～74 歳	1,300	3,054	4,354	21.7%
75～79 歳	1,484	2,960	4,444	22.2%
80 歳～	1,227	2,581	3,808	19.0%
計	6,256	13,805	20,061	100%

エ 健診別応募者実績

種別	H30 年度	H29 年度	増減	前年比
特定健診	5,732	6,460	▲728	88.7%
その他の検診	23,298	21,802	1,496	106.8%
計	29,030	28,262	768	102.7%

※その他は、協会けんぽ、職場の健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査、脳ドッグ、骨粗しょう症検診、歯周病(歯周疾患)検診、人間ドック、がん検診、PET健診、被爆者検診

オ 景品別応募者実績

ポイント	景品名	発送数(件)	割合
10	健康飲料 3 種セット	4,300	21%
	シャボン玉バブルガードセット	2,440	12%
	調味料 3 本セット	3,793	19%
	すぐとける赤だし・あわせみそセット	2,661	13%
	ファスナー付トートバッグ	2,374	12%
	いわしのぬか炊き	3,303	17%
	折りたたみチェア (1 脚)	1,190	6%
計		20,061	100%

(2) 応募者アンケートの実施

アンケート数	回収数	回収率
1,500 件	874 件	58.3%

3 コーディネーター等業務連絡会議の開催実績

実施日	人員	会場	内容
H30. 4. 10	18 人	ウェルとばた	効果的な事業運営のための調整、課題協議、企画検討、業務報告、情報交換・共有等
H30. 5. 8	19 人		
H30. 6. 5	19 人		
H30. 7. 10	18 人		
H30. 8. 7	17 人		
H30. 9. 4	18 人		
H30. 10. 9	19 人		
H30. 11. 6	18 人		
H30. 12. 4	19 人		
H31. 1. 8	19 人		
H31. 2. 5	17 人		
H31. 3. 4	18 人		
計	219 人	12 回	

## ◇地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業は、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守る事業として平成11年10月にスタートし、制度開始から20年目を迎えました。

本事業は、制度発足以来、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等、判断能力が不十分な人々が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助、利用料の支払い等福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を行ってきました。

平成30年度末の実契約者数は市内全域では314件で、昨年比6件減でした。

その一方で、判断能力の著しい低下により、本事業で支えることが困難となった利用者については、親族、関係者に対して、成年後見制度への移行支援を行っています。今年度は、6人の利用者が成年後見制度へ移行し、成年後見人等の支援のもと、安心した生活を送っています。

### 1 事業運営の適正化

- (1) 運用委員会の開催 (10回)
- (2) 会計監査の実施 (1回) (対象者 301人)
- (3) 事業監査の実施 (1回) (対象者 297人)
- (4) 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行 (全利用者)
- (5) 福岡県運営適正化委員会への定期報告 (1回)

### 2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加 (12回)
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加 (5回)

### 3 職員資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催 (2回)  
第2回目は、「北九州市市民後見候補人」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- (2) 専門性を高めるための研修会への参加 (5回)

### 4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」(9回 参加者 337人)
- (2) らいとホームページの活用 (更新 3回)

## 5 サービス内容

### (1) 相談

#### ア 内容 (件数)

相談内容	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
金 銭 管 理	3	2	7	11	41	11	34	0	2	10	12	1	9	143
財産保全・財産侵害	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4
相 続 ・ 遺 言	3	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	10
福祉サービスへの苦情	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日常生活の問題	9	11	0	0	6	5	6	0	1	2	2	0	5	47
福祉サービスの手続き	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
親族・家族関係	0	7	0	0	3	3	6	1	0	1	2	0	2	25
成年後見制度	4	14	0	1	3	0	6	2	1	2	2	1	7	43
その他(本事業の問い合わせ)	22	50	4	14	46	13	59	1	4	28	23	2	26	292
合 計	42	91	13	26	100	34	112	4	9	43	41	4	49	568

#### イ 対象者 (件数)

相談の対象者	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
認知症高齢者	13	50	8	13	54	6	76	2	1	25	18	0	7	273
障害者	身体	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	8
	知的	4	2	0	5	10	10	2	0	9	1	3	10	56
	精神	10	4	3	1	13	11	4	0	2	6	9	0	8
難病患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	3	1	4	5	1	5	1	4	1	9	2	13	53
合 計	31	62	12	23	83	28	88	3	7	41	37	5	41	461

### (2) 調査および調整

	認知症 高齢者	障害者		その他	合計
		知的	精神		
調 査	530	166	187	45	928
調 整	4,532	2,352	3,367	288	10,539

### (3) 他機関紹介

弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	消費生活センター	行政機関	介護支援事業者	施設	医療機関	その他	合計
1	0	0	0	12	0	0	0	67	80

## (4) 契約

## ア 契約締結件数及び人数

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知 的	精 神		
前年度までの契約締結件数(A)	233	105	72	15	425
契約締結者数	181	73	55	11	320
財産保管	55	41	20	4	120
金銭管理・生活支援	178	64	52	11	305
本年度の契約締結件数(B)	28	14	8	1	51
契約締結者数	23	11	7	1	42
財産保管	5	4	1	0	10
金銭管理・生活支援	23	10	7	1	41
本年度の契約解除件数(C)	39	15	5	1	60
契約解除者数	31	12	4	1	48
財産保管	10	5	1	0	16
金銭管理・生活支援	29	10	4	1	44
本年度末の契約締結(A+B-C)	222	104	75	15	416
契約締結者数	173	72	58	11	314
財産保管	50	40	20	4	114
金銭管理・生活支援	172	64	55	11	302

## イ 契約者の居住区

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
29	101	65	21	28	47	23	314

## ウ 解約理由

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的障害者	精神障害者		
死 亡	18	4	1	0	23
市外へ転居	6	1	0	0	7
入院・入所	0	0	0	0	0
本人の意思	5	4	2	1	12
能力の喪失	0	0	0	0	0
管理の移管	2	3	1	0	6
合 計	31	12	4	1	48

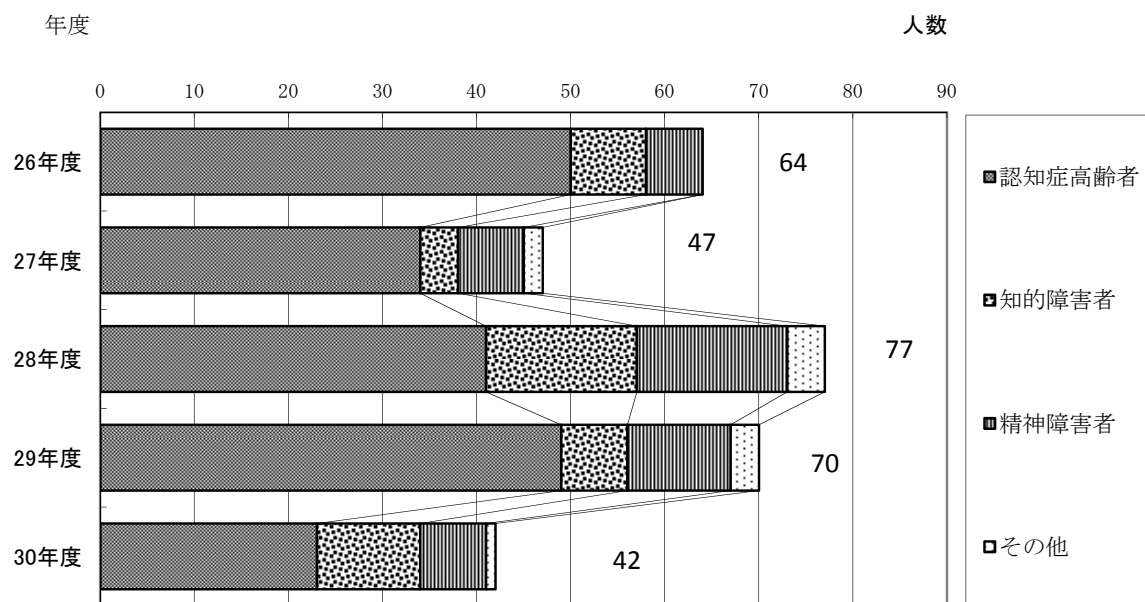
(5) サービスの実施状況

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計	
		知的	精神			
財 産 保 管 サ ー ビ ス	6	10	8	1	25	
金 銭 管 理 サ ー ビ ス	2,633	1,301	1,131	197	5,262	
生 活 支 援 サ ー ビ ス	定 期 訪 問 に よ る 見 守 り	2,602	1,282	1,043	196	5,123
	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 状 況 の 確 認 ・ 情 報 提 供	2,463	840	855	173	4,331
	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 手 続 き に 関 す る こ と	18	10	14	1	43
	諸 手 続 き の 同 行 ・ 代 行	40	18	12	7	77
	権 利 侵 害 等 の 問 題 を 関 係 機 関 に つ な ぐ	1	0	0	0	1
そ の 他	0	0	0	0	0	
合 計	7,763	3,461	3,063	575	14,862	

6 利用者の推移

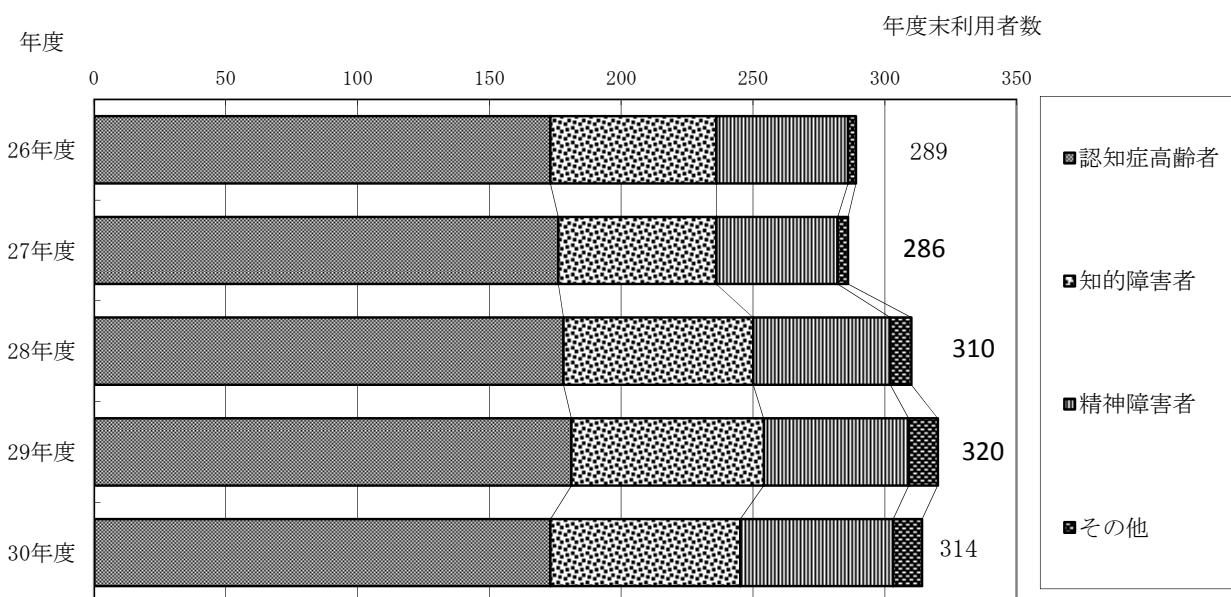
(1) 年度別契約成立者数の推移

	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計	前年度比
H26年度	50	8	6	0	64	0
H27年度	34	4	7	2	47	▲17 (27%減)
H28年度	41	16	16	4	77	30 (64%増)
H29年度	49	7	11	3	70	▲7 (9%減)
H30年度	23	11	7	1	42	▲28 (60%減)



(2) 各年度末利用者実数の推移

	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計	前年度比
H26 年度	173	63	50	3	289	0
H27 年度	176	60	46	4	286	▲3 ( 1%増)
H28 年度	178	72	52	8	310	24 ( 8%増)
H29 年度	181	73	55	11	320	10 ( 3%増)
H30 年度	173	72	58	11	314	▲6 ( 2%減)





## ◇法人後見事業

国の成年後見制度利用促進計画が策定され、各市区町村における権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりがすすめられるなか、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取り組みが全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

一方で、本会が平成 21 年度より取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、平成 31 年 3 月末現在の受任件数は 48 件（成年被後見人 32 人、被保佐人 12 人、被補助人 4 人）となっています。

また、市民を活用した本会のこの取り組みは、全国的にも注目されており、他県・市からの視察を受入れたほか、他県・市で開催される講演会等へ講師を派遣しました。

### 1 事業運営の適正化

- (1) 運用委員会の開催（10 回）【再掲】
- (2) 会計監査の実施（1 回）【再掲】（対象者 48 人）

### 2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加（12 回）【再掲】
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（5 回）【再掲】
- (3) 家事関係機関との連絡協議会への参加（福岡家庭裁判所小倉支部・1 回）

### 3 職員の資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催（2 回）【再掲】

### 4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（9 回 参加者 337 人）【再掲】
- (2) 成年後見制度リーフレットの発行（2,000 部）
- (3) 他都市が開催する研修会等への講師派遣（2 回 研修参加者 112 人）
- (4) らいとホームページの活用（更新 3 回）【再掲】
- (5) 視察の受け入れ（4 回 視察者 21 人）

### 5 法人後見事業の受任状況

(1) 年度末受任状況 (48件: 後見 32件、保佐 12件、補助 4件)

(2) 月別新規受任状況

(単位:人)

		認知症		障害者			その他	計			認知症		障害者			その他	計
		高齢者		知的	精神	身体					高齢者		知的	精神	身体		
4月	後見	0		0	0	0	0	0	10月	後見	1		0	0	0	0	1
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0
5月	後見	1		0	0	0	0	1	11月	後見	0		0	0	0	0	0
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0
6月	後見	0		1	0	0	0	1	12月	後見	0		0	0	0	0	0
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0
7月	後見	0		1	0	0	0	1	1月	後見	0		0	0	0	0	0
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0
8月	後見	0		0	0	0	0	0	2月	後見	0		0	0	0	0	0
	保佐	0		1	0	0	0	1		保佐	0		0	0	0	0	0
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0
9月	後見	0		0	0	0	0	0	3月	後見	0		0	0	0	0	0
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0
									計	後見	2		2	0	0	0	4
										保佐	0		1	0	0	0	1
										補助	0		0	0	0	0	0
										計	2		3	0	0	0	5

(3) 新規受任ケースの申立状況

(単位:人)

	後見			保佐			補助			合計
	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	
本人申立	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
親族申立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
市長申立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	1	2	1	0	0	1	0	0	0	5

(4) 年間活動回数 (1,352回)

(5) 後見報酬請求状況

請求人数	50人 (後見 37人、保佐 9人、補助 4人)
金額	9,400,000円

## ◇社会貢献型市民後見人養成事業

認知症や障害により判断能力が不十分な人を法的に保護する「成年後見制度」の普及に伴い、後見人不足、とりわけ専門職後見人の不足が懸念されています。そのため、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する「市民後見人」の育成とその活動の支援が全国的に進められています。

北九州市では、平成19年度より、毎年、社会貢献型「市民後見人」養成研修を開催し、これまでに8期生までの122名が全課程を修了しています。しかし、家庭裁判所が、重い責任を伴う成年後見人等として専門職でない市民を選任するためには、市民後見人の活動をサポートするしくみが不可欠で、そのしくみが整備されていない本市では、未だ個人で受任する市民後見人は誕生していません。そこで、平成29年度より、本会が後見監督人等に就任し、市民後見人の活動をサポートしていく社会貢献型市民後見人養成及び支援事業に取り組んでいます。

そうした中、今年度は第8期社会貢献型市民後見人養成実務研修を開催した他、第1～7期養成研修の修了生を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

なお、修了生122名のうち34名は、個人で市民後見人として活動を行うことを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録される予定です。(平成31年4月1日登録)

### 1 社会貢献型市民後見人養成業務

#### (1) 市民が担う成年後見制度～市民後見人を目指す人の講演会～

実施日	人員・会場	内容
H30. 11. 18	一般市民 76人 支援員 18人 ウエルとばた	第一部 ①講演会 「成年後見制度を考える～市民後見人への期待～」 (講師) 北九州市立大学 准教授 深谷 裕 氏 ②活動事例発表・まとめ 権利擁護・市民後見センター 支援員 2名 第二部 情報提供

#### (2) 第8期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業実務研修 (全8日間)

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 28	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 6人 ウエルとばた	①オリエンテーション ②対人援助の基礎(1) 社会福祉士 清水 博子 氏 ③事例検討(1)(障害者に関して) 障害者基幹相談支援センター 中村 汐里 氏 弁護士 河原 一雅 氏 ④同行実習での留意点(法人後見事業) 権利擁護・市民後見センター 次長 南里 佳代子

H30. 8. 11	6人 ウェルとばた	①施設実習での留意点 グループホーム八幡 施設長 局 亮 氏 戸畑障害者地域活動センター センター長 池田 博志 氏 ②成年後見実務の概要 リーガルサポート 司法書士 本多 寿之 氏 ③後見等開始申立の実務 リーガルサポート 司法書士 大野 友裕 氏 ④後見人就任直後の職務 リーガルサポート 司法書士 森上 恵美香 氏
H30. 9. 10	6人 家庭裁判所 ウェルとばた	①家庭裁判所の実際 ②家庭裁判所見学 ③事例検討（2）（高齢者に関して） 統括支援センター 社会福祉士 宮嶋 雅代 氏 弁護士 河原 一雅 氏
H30. 9. 29	6人 ウェルとばた	①後見人就任中の職務 リーガルサポート 司法書士 椛島 浩二 氏 ②事例検討（3）（身上監護） リーガルサポート 司法書士 大城 明恵 氏 司法書士 田代 洋平 氏 司法書士 五反田 猛 氏 司法書士 椛島 浩二 氏
H30. 10. 13	6人 ウェルとばた	①後見終了時の職務 リーガルサポート 司法書士 恒松 史帆 氏 ②事例検討（4）（金銭管理・財産保護） リーガルサポート 司法書士 田上 伸之 氏 司法書士 松本 篤 氏 司法書士 花田 憲司 氏 司法書士 恒松 史帆 氏
H30. 10. 27	6人 ウェルとばた	①事例検討（5）（精神障害者に関して） 相談支援事業所「すてら」事業所長 佐藤みずほ 氏 弁護士 河原 一雅 氏 ②対人援助の基礎（2） 社会福祉士 清水 博子 氏 ③市民後見人像 市民後見人の会・ながさき 副理事長 岸部 誠 氏 ④閉講式 長寿社会対策課

8月～ 10月	6人	①同行実習（法人後見事業）
8月中旬～ 10月中旬	6人	①施設実習（法人後見事業）

(3) 北九州市市民後見候補人フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 17	北九州市市民 後見人養成研 修修了者 53人 ウェルとばた	①講義 「成年後見制度における本人意思の尊重」 (講師) 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポ ート 司法書士 恒松 史帆 氏 ②「北九州市市民後見候補人」登録更新説明会

**2 市民後見人管理業務**

市民後見人が後見人等を務める案件の選定並びに市民後見人候補者の選定を以下のとおり業務を行った。

履行期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

ア 北九州市市民後見人候補者名簿の管理（登録期間の更新、再登録または取消）

イ その他関連資料の作成事務

**3 市民後見人支援業務**

実績なし（市民後見人が選任された事案が無かったため）

# ◇ボランティア振興事業

## 1 福祉教育事業

児童・生徒が将来、ボランティア・市民活動に積極的に参加する意識啓発の契機として、ボランティア活動を体験できる機会を提供するため、夏ボランティア体験学習事業を実施しています。夏ボランティア体験学習では、青少年ボランティアステーションとの協働のもと、社会福祉施設やイベント等のさまざまな形でボランティア活動を体験することで福祉の心を育てています。

### (1) 2018 夏ボランティア体験学習事前研修会

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 14 ・ H30. 7. 15	746 人 ウェルとばた	(14 日・15 日 各 10:00・14:00～) 「社会福祉施設での活動について」 講師:養護老人ホーム徳寿園 園長 宮崎 浩 氏

### (2) 2018 夏ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 24 ～ H30. 8. 18	1,724 人 市内各施設および 各イベント会場	3 日間の体験学習 ・社会福祉施設体験 (718 人) ・イベント参加等、その他の活動 (1,006 人)
H30. 8. 4	50 人 ウェルとばた	・親子点字教室 (25 組 50 名)

### 過去 5 年実績

年 度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
参加人数	2,317	2,342	1,713	1,338	1,724 人

## 2 ボランティアネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会を開催し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を広げています。また、当年度も引き続き合同研修会を実施するなど、コーディネーターのスキルアップにも取り組みました。

災害時の被災者支援に向けた取組みでは、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められるため、平成 26 年度の市域を対象とした設置・運営訓練を受け、平成 27 年度からはより被災地に近い区域での開催としています。

平成 30 年 7 月豪雨にかかる市内被災者支援にあたっては、延べ 590 人の災害ボランティアのマッチングを行いました。7 月 11 日から 8 月 3 日までの間、「災害ボランティア相談窓口」を開設し、ボランティアを必要とされる方の相談受付及びボランティア活動していただける方の募集を行ったほか (8 月 4 日以降は当センターを窓口に通常のコーディネーションとして受付)、発災直後の 3 連休となった 7 月 14 日 (土)～16 日 (月) の間は、特にニーズが多かった門司区の被災者を支援するため、大里インター至近の「(社福)春秋会 好日苑大里の郷」のご協力のもと、臨時災害ボランティアセンターを開設し災害復旧活動を実施しました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築

ア 中間支援組織連絡会の開催

実施日	人員・会場	内容
H30. 4. 25	10人 コムシティ	・各団体の紹介 ・平成30年度研修スケジュールの情報交換・情報共有
H30. 6. 27	9人 ウエルとばた	・各団体情報交換
H30. 8. 22	7人 ウエルとばた	・各団体情報交換
H30. 10. 24	8人 コムシティ	・各団体情報交換
H30. 12. 19	9人 ウエルとばた	・各団体情報交換 ・合同研修会について
H31. 2. 27	8人 コムシティ	・各団体情報交換 ・来年度の連絡会について（方針）

イ 中間支援組織連絡会合同研修会

実施日	人員・会場	内容
H31. 1. 10	35人 ウエルとばた	「支援する力を高めるために ～コーディネーターの多様な主体をつなげる機能とチームとして動いていくコツを学ぶ～」 講師：九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏

(2) 災害時の被災者支援に向けた取り組み

ア 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内容
H31. 2. 8	14人 ウエルとばた	北九州市危機管理室・保健福祉局、北九州青年会議所、連合福岡・北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会、エフコープ生活協同組合	・出席者紹介報告 ・平成30年7月豪雨にかかる被災地支援活動について ・災害時資機材の配備状況について協議 ・平成30年度災害ボランティアセンター設置・運営訓練について ・次年度の取組みについて

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内容
H30. 11. 11	88 人 (職員 31 人含む) 若松競艇場 クレカ若松	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・講義「地域の「受援力」を高めるためには」</li> <li>・演習「災害ボランティアセンター運営訓練」</li> <li>・質疑応答・まとめ</li> </ul> (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏
H31. 2. 15	95 人 (職員 16 人含む) 若松競艇場 クレカ若松	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・講義「災害ボランティアセンターの機能と役割」</li> <li>・演習「災害ボランティアセンター運営訓練」</li> <li>・質疑応答・まとめ</li> </ul> (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏

過去 5 年実績 (職員数除く)

年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
回数	4	2	1	1	2
延べ参加者数	173	144	52	52	136

ウ 北九州市総合防災訓練への参画

(ア) 説明会及び連絡会

実施日	会場	内容
H30. 7. 13	長行市民センター	平成 30 年度北九州市総合防災訓練第 1 回地域連絡会 「河川氾濫に関する防災講話」
H30. 8. 28	長行市民センター	平成 30 年度北九州市総合防災訓練第 2 回地域連絡会 「災害図上訓練(DIG)」

(イ) 北九州市総合防災訓練

実施日	人員・会場	内容
H30. 11. 4	738 人 (職員 6 人含む) 長行小学校	平成 30 年度北九州市総合防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 訓練 住民避難訓練</li> <li>・開会式 市長挨拶</li> <li>・第 2 訓練 救助救出訓練</li> <li>・第 3 訓練 給食訓練 (炊き出し)</li> <li>・第 4 訓練 体験型防災訓練 ボランティアセンター体験ブースを運営</li> <li>・第 5 訓練 避難所運営訓練</li> <li>・閉会式</li> <li>・炊き出し試食、解散</li> </ul>



エ 平成 30 年 7 月豪雨における取り組み

(ア) 災害ボランティア登録状況

男性	女性	計
190	97	287

(イ) 被災者支援活動

	活動日	活動者数(人)		活動場所	活動内容
		個人	団体		
1	7/11(水)	8	8	市内全域	敷地内や家屋に流入した土砂やがれきの撤去、浸水した家財の片付けなど
2	7/13(金)	11	10		
3	7/14(土)	60	49		
4	7/15(日)	88	42		
5	7/16(月)	78	27		
6	7/18(水)	3	3		
7	7/19(木)	31	31		
8	7/21(土)	74	17		
9	7/22(日)	76	16		
10	7/24(火)	8	0		
11	7/25(水)	11	7		
12	7/28(土)	37	28		
13	8/4(土)	22	14		
14	8/18(土)	18	14		
15	9/2(日)	37	25		
16	10/20(土)	14	14		
17	11/21(水)	4	4		
18	11/28(水)	10	10		
	計	590	319		

※9月1日(土)、7日(金)、8日(土)、14日(金)、15日(土)、29日(土)は活動を計画するも、悪天候のため活動中止。

(ウ) ニーズ等受付

	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	計
支援件数	29	4	5	0	6	0	1	45
調査件数	13	4	7	0	5	2	0	31
計	42	8	12	0	11	2	1	76

支援件数…ニーズ依頼、現地調査を経て、支援を行ったもの。

調査件数…ニーズ依頼を受け、現地調査を行ったが、ボランティアでの対応困難、他機関へのつなぎなどで支援にはつながらなかったもの。

## (エ) 活動者数

活動場所	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	計
延べ人数	433	43	40	-	66	-	8	590

## 3 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家具の移動等、自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

## (1) シルバーひまわりサービス事業

事業開始後 25 年を経過し活動者の高齢化が進んでおり、運転ボランティアの確保が課題となっています。企業・団体への働きかけなど、新規活動者の掘り起こしに努めています。

## ア ボランティア実働人員

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	18	19	16	9	18	14	14	22	15	14	14	21	194
行政職員	18	17	32	20	23	18	29	29	27	23	25	21	282
企業・市民	210	206	231	198	202	221	223	217	224	215	214	218	2,579
社協職員	9	7	10	13	5	6	11	13	9	14	5	13	115
合計	255	249	289	240	248	259	277	281	275	266	258	273	3,170

## 過去 5 年実績

年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
実働人員	3,227	3,164	3,069	3,035	3,170

## イ ボランティア実働回数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	20	20	18	10	18	15	15	23	17	15	15	24	210
行政職員	27	24	43	24	34	26	35	34	36	30	34	25	372
企業・市民	637	648	675	546	604	625	723	660	657	611	667	620	7,673
社協職員	13	8	12	16	6	10	13	17	12	20	6	15	148
合計	697	700	748	596	662	676	786	734	722	676	722	684	8,403

## 過去 5 年実績

年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
実働回数	8,487	7,733	7,793	7,642	8,403

## ウ 目的別利用件数（1回の運行で複数の利用目的あり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	241	242	257	199	227	232	287	273	239	240	233	246	2,916

福祉施設入所及び利用	1	0	0	0	2	1	0	1	1	0	1	1	8
買物・食事	122	129	117	104	114	109	144	117	118	115	118	101	1,408
理髪・入浴	7	9	9	10	6	7	5	7	10	5	4	7	86
観光・公共施設利用	53	49	58	46	62	60	65	47	72	58	74	50	694
合計	424	429	441	359	411	409	501	445	440	418	430	405	5,112

過去5年実績

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用件数	4,894	4,762	4,691	4,847	5,112

### エ 利用延べ人数

年度	計	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	本部
H28	4,108	299	499	983	719	535	695	302	76
H29	3,987	422	539	922	690	430	654	251	79
H30	4,285	536	491	931	697	530	683	324	93

※本部では土・日（午前のみ）の送迎を担当

### オ 連絡調整会議

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 8	6人 連合福岡・北九州地域協議会	・平成29年度実施状況について ・成果及び課題について

### (2) 腕自慢おまかせサービス事業

この事業は、企業、個人等の協力により、市民のニーズに対応しています。今後、活動者を全市的に確保し、各区においてコーディネートする等、地域に密着した事業への発展を目指しています。

### ア 活動内容別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大工(棚製作等)	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
窓、戸等の修繕	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
家具の移動等	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
包丁、鋏とぎ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
除草、庭木剪定	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
清掃	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
電気系統修理	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
水道系統修理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	9	2	1	1	1	0	1	6	1	0	0	0	22

## 過去5年実績

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実施件数	66	70	48	52	22

### 4 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」への助成を年間を通じ行っています。地域福祉研修活動助成についても、ホームページを通して広く情報提供するとともに、研修参加費を助成することによって全国レベルでの研修会の参加機会を提供することができました。

また、ホームページ等を通じて助成金などの情報を広く提供しています。

#### (1) ボランティア活動保険加入掛金助成事業

取扱件数			加入者数	助成金額 (円)
団体加入		個人加入		
グループ数	人員	人員		
1,135	23,281	691	23,972	3,379,680

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
加入者数	22,380	22,722	24,556	24,676	23,972

#### (2) 地域福祉研修活動助成

1	研修名	ボランティア全国フォーラム2018
	実施日・会場	平成30年11月3日(土)・4日(日) 軽井沢大賀ホール他
	参加者	応募なし
2	研修名	全国ボランティアコーディネーター研究集会2019 京都
	実施日・会場	平成31年3月2日(土)～3月3日(日) 大谷大学
	参加者	応募なし

## 過去5年実績

区分		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
国内 研修	対象者数	1	2	1	0	0
	助成金額	50,000	100,000	50,000	0	0

### 5 介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成25年度から実施しています。

65歳以上の北九州市民(介護保険第1号被保険者)が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州市地域福祉振興基金(ひまわり基金)に寄付することができます。

す。本事業は、活動者の生きがいがいづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こしにもつながっています。

(1) 受入施設登録状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

ア 登録施設 392 施設

イ 施設の種類 (併設を含む)

施設の種類	施設数	施設の種類	施設数
介護老人福祉施設	50	通所リハビリテーション	21
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	14	認知症対応型通所介護	21
介護老人保健施設	23	短期入所生活介護	40
介護療養型医療施設	2	看護小規模多機能型居宅介護	2
特定施設入居者生活介護	37	地域密着型通所介護	24
認知症対応型共同生活介護	84	北九州市予防給付型通所サービス	15
小規模多機能型居宅介護	35	北九州市生活支援型通所サービス	7
通所介護	176	合計	551

(2) ボランティア登録状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在) (人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	合計
男	40	121	155	69	30	415
女	252	549	494	226	82	1,603
合計	292	670	649	295	112	2,018

(3) ボランティア活動者・受入施設の登録数

年 月	ボランティア活動者			受入施設		
	新規登録	退会	変更	新規登録	退会	変更
H30. 4	5	0	0	9	1	43
H30. 5	9	2	3	4	1	29
H30. 6	12	18	9	3	2	3
H30. 7	15	1	1	1	2	2
H30. 8	42	0	2	0	0	1
H30. 9	7	5	9	1	1	1
H30.10	20	0	4	3	1	7
H30.11	6	3	3	2	0	4
H30.12	3	1	1	0	0	1
H31. 1	14	21	16	0	0	0
H31. 2	27	23	10	2	0	2
H31. 3	24	5	7	3	0	0
合計	184	79	65	28	8	93

(4) 換金・寄付申請状況(対象者：平成30年12月31日現在の登録ボランティア)

	換金	寄付 (ひまわり基金)	換金・寄付 (ひまわり基金)	合計
人数	588	200	61	849
金額	2,018,600	394,400	換金 182,100 寄付 78,500	2,673,600

※ボランティア活動実施者数(1回以上の活動者数) 974人(平成30年1～12月)  
ボランティア活動延活動回数 19,808回(平成30年1～12月)

(5) 内容別ボランティア活動状況(平成30年4月～平成31年3月)

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション(趣味活動)等の補助	5,876回
②芸能等の披露	2,665回
③話し相手	2,897回
④行事の手伝い	763回
⑤食事介助の補助(お茶出し・配膳・下膳等)	1,462回
⑥掃除・衣類整理の補助	2,088回
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	138回
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	2,442回
合計	18,331回

※3月分の施設側報告の締切に達していないため、現時点集計不可

## 6 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

新たな社会資源を活かした地域の生活支援力向上を目指し、NPOをはじめとする活動団体が運営するサロン等に対して、助成や相談援助などの支援を行うことにより、地域にお住まいの方々が気軽に集える場所を通じた「仲間づくり」を進めることを目的として、平成30年10月より「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業」を開始しました。

(1) 助成にかかる審査

申請数	助成対象	非対象
21	20	1

(2) 助成額

	助成団体数	助成額
月4回以上の開催 (助成額20,000円)	15	300,000円
月2回以上4回未満の開催 (助成額10,000円)	5	50,000円

※活動期間が1年に満たない場合は、その月数に応じて交付

## 7 市民ふれあいフェスティバル事業

全市的なボランティアの集いのイベントとして、各区社協との共催のもと、実行委員会形式によりテーマを決定し、委員の企画・進行により開催しています。

実行委員決議により、「あなたとわたしのやさしい絆～みんなー 待っているよー。～」をテーマとし、日頃のボランティア・市民活動を紹介・支援する「パネル展示」「活動紹介」「活動支援バザー」等の催しの他、ボランティア週間では昨年引き続き「フードドライブ」にも取り組み、誰もが参加できるボランティア活動として紹介しました。平成30年7月豪雨災害への社協の取り組みについても、北九州市立大学と共同でパネルを作成し、展示発表しました。

開催当日は好天にも恵まれ、55団体のボランティアグループ・市民活動団体・企業が出展し、延4,243名の方にご来場いただきました。

### (1) 実行委員会

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 19	21人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正・副委員長の選任について</li> <li>・平成30年度 実行委員会の取り組みについて</li> <li>・平成30年度 実施内容について</li> </ul>
H30. 8. 1	19人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の経過報告について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
H30. 10. 5	19人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の経過報告について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
H30. 12. 7	15人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告について</li> <li>・次年度の検討課題について</li> </ul>

### (2) 催事内容

実施日	人員・会場	内容
H30. 10. 28	4,243人 ウエルとばた および周辺	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティア・市民活動を紹介・支援するイベント ・活動紹介、パネル展示、活動支援バザー、ステージでのボランティアグループ・市民活動団体による演舞等の発表会</li> <li>2 福祉のこころを育むイベント ・福祉車両体験、福祉疑似体験、赤い羽根共同募金、運営ボランティア向け福祉教育</li> <li>3 「ボランティア週間」(10月20日～10月28日)のイベント ①パネル展示 ②みんなで歩こう北九州 in とばた 2018 ③おもちゃの修理 ④車椅子寄贈式(10月26日) ⑤食品を集める運動「フードドライブ」</li> <li>4 スタンプラリー</li> </ol>

### (3) 過年度の実施内容及び推移

年度	内容	場所	参加人数
H26 年度	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,648
H27 年度	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,955
H28 年度	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー、ボランティア週間・被災地支援イベント	戸畑	4,702
H29 年度	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験コーナー、ボランティア週間	戸畑	3,321
H30 年度	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験コーナー、ボランティア週間	戸畑	4,243

## 8 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、さまざまな啓発資料を作成するとともに、出前講演にも取り組んでいます。併せて、北九州市社協だよりを活用し「企業の社会貢献活動」の紹介を行っています。

また、ボランティアコーディネーター間の情報交換や共有、スキルアップ等のため、ボランティアコーディネーター連絡会議を実施しています。

### (1) 啓発資料の作成

発行時期	資料名	発行部数
H31. 3	2018 ボランティアグループ等実態調査	1,000 部
H31. 3	ボランティアグループ名簿 2018 年度	500 部

### (2) 出前講演

実施回数	人員
4 回	191 人

## 9 ボランティア活動支援

市民や施設等からのボランティア相談を来所または電話で相談を受け付け、双方のニーズに見合うボランティアコーディネートを行っています。市社協ボランティアセンターでは、土曜日と日曜日午前の開所も行い、平日の来所が難しい人へも対応しています。



(1) ボランティア活動に関する相談件数

項目	活動依頼		活動者依頼		活動先紹介		講座等紹介		他機関・制度紹介		資料提供		会議室・機材貸出		保険		保険請求	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	37	24	9	37	9	23	8	3	8	6	13	0	142	73	343	219	9	13
	61		46		32		11		14		13		215		562		22	

項目	送迎申込		コーディネート 送迎相談		腕自慢		収集・ リサイクル		養成講座 体験学習・		介護支援 ボランティア		サロン助成 補助事業		その他		合計	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	8	108	3	289	4	53	76	0	79	192	72	316	1	24	15	61	836	1,441
	116		292		57		76		271		388		25		76		2,277	

(2) ボランティアコーディネーション

項目	外出支援	行事支援	文化・伝承 演劇等活動	施設活動	腕自慢	送迎	託児	その他	合計
件数	8	32	7	9	24	72	0	39	191
人員	16	87	8	17	34	149	0	56	367

## ◇社会福祉ボランティア大学校事業

研修課では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、高齢者、生活困窮者等様々な課題を抱えた人たちを支援するために、福祉の視点で地域コミュニティづくりに取り組む人材の養成・育成をめざした研修を実施し、今年度は延べ2,998人が研修を受講しました。

今年度、重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)区主導の下、地域の人材発掘や課題発見、解決を進めていき、地域住民による「地域単位での生活支援力」を高めていきました。

また、社会福祉法人・企業を対象とした社会貢献活動セミナーを開催し、社会福祉法人・企業が地域の一員として社会貢献活動に対する意識の向上を図りました。

さらに、平成30年7月豪雨で市民の防災に対する関心が高まる中、「災害ボランティア・フォローアップ研修」を実施し、本市での活動報告のほか、今後の災害支援活動に活かすべく、災害時に備えた体制づくりを視野に入れた講義を行いました。

### 1 研修体系の区別研修実施状況一覧

#### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	147	6～8
ふくしのまちづくり講座	校区住民	11	2～4	31	1,069	7～3
計		12	—	36	1,216	—

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	314	6～8
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	313	9～12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	87	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	496	10
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	96	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	48	9～11
計			19	—	21	1,354	—

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者を希望する者	3	2	6	74	6～3
	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	2	2	99	8
	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	44	8
活動者	送迎ボランティア・フォローアップ研修(実技)	送迎ボランティア	1	1	1	13	10
	送迎ボランティア・フォローアップ研修(座学)	送迎ボランティア	2	1	2	43	9～10
	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	27	5
	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	27	9
リーダー	ボランティアリーダー研修	リーダー次期リーダー	1	1	1	19	10
計			11	—	15	346	—

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	23	1
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	22	3
計		2	—	2	45	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
実務者 ボランティア コーディネーター研修	施設・団体等でボランティアコーディネートに関わる職員	2	1	2	37	6～7

2 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	172,000部	平成30年5月1日・8月1日 11月1日・平成31年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成30年5月1日
平成29年度事業報告書	HP掲載	平成30年5月1日

3 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
H26年度	8	26	1,078
H27年度	8	26	998
H28年度	8	26	886
H29年度	12	39	1,208
H30年度	12	36	1,216

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
H26年度	19	23	1,754
H27年度	19	23	1,953
H28年度	19	23	1,217
H29年度	19	21	1,185
H30年度	19	21	1,354

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
H26年度	9	14	305
H27年度	9	14	306
H28年度	9	14	263
H29年度	12	16	340
H30年度	11	15	346

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
H26年度	1	1	18
H27年度	1	1	30
H28年度	1	1	102
H29年度	2	2	69
H30年度	2	2	45

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
H26年度	1	2	47
H27年度	1	1	32
H28年度	1	2	38
H29年度	1	1	32
H30年度	2	2	37

(6) 延べ研修参加人数

年度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
H26年度	38	66	3,202
H27年度	39	66	4,050
H28年度	38	66	2,506
H29年度	47	80	2,900
H30年度	46	76	2,998

# ◇北九州シニアネットワークアカデミー事業

## 1 周望学舎事業

周望学舎は「宿泊のできる年長者の研修施設」という要望に応じて、高齢者の生きがい対策と生涯学習という二つの性格を併せ持つ、元気な高齢者を対象とした施設として、全国に先駆けて昭和54年8月に設置されました。

発足当初は、老人クラブ指導者養成から趣味活動支援としての実技指導、さらに高齢者の生きがいづくりを主とした研修内容としていましたが、近年は地域活動・地域貢献をめざす活動者の育成にも力を注いでいます。

平成30年度の研修では、新しく、フードバンク活動と子ども食堂との協働についての学びと参画の機会提供や、地域支援コーディネーターとボランティアコーディネーターの活動紹介などを研修に取り入れ、かつ研修生を中心にボランティア活動のコーディネートを重点的に行うことで、福祉の啓発だけでなく、地域福祉活動への道標を示しました。

### (1) 応募状況の推移

#### 【応募者数・応募倍率等の推移】

年間コース		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
新人	男	40	43	45	41	31
	女	66	68	60	50	61
経験者	男	216	222	221	216	216
	女	268	294	285	278	294
合計		590	627	611	585	602
定員		546	546	546	546	546
応募倍率		1.08	1.15	1.12	1.07	1.10

## (2) 研修生等(利用者)の推移

### ア 全体的な傾向

年間コース利用者については、研修内容の充実などにより延べ18,228人となりました。また、研究クラブは研修室の空き等を有効に活用し、実技コースでの学びをさらに充実させています。

分類		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間コース	コース数	15	15	15	15	15
	研修生数(延べ)	18,805	19,194	19,352	18,861	18,228
研究クラブ	グループ数	2	4	4	4	4
	利用者数(延べ)	1,421	2,317	2,555	2,319	2,473
同好会	グループ数	6	5	5	6	6
	利用者数(延べ)	1,558	1,670	1,233	1,555	1,654

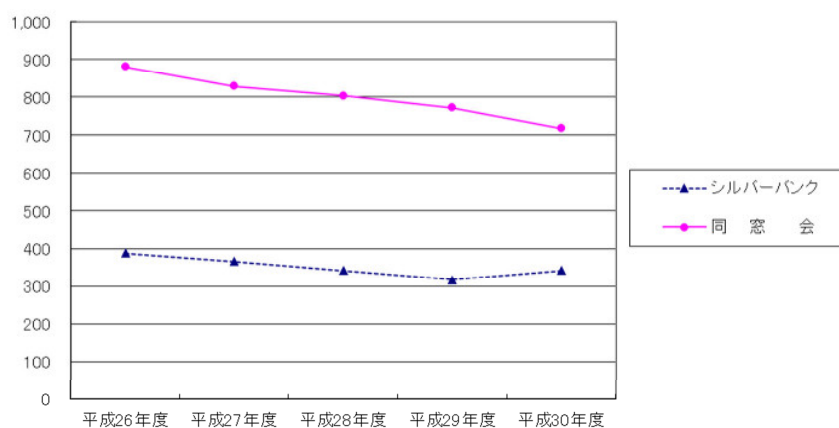
施設年間利用状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用者数(延べ)	32,106	33,380	33,367	31,976	30,800

### イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

会員数	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
シルバーク	388	366	342	317	342
同窓会	880	828	803	771	717



(3) 平成30年度研修実施状況

コース名		在籍者数	利用者数(延べ)			研修回数			
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計	
年間コース	一般	地域ふれあい	32	541	528	1,069	37	2	39
		心と身体の健康	27	384	638	1,022	37	2	39
		健康づくりサポーター	40	711	724	1,435	37	2	39
		国際情報	41	502	904	1,406	36	2	38
		アジアを学ぶ	38	356	958	1,314	37	2	39
		ふるさととの文化	41	730	699	1,429	37	2	39
		生活情報	40	417	1,023	1,440	37	2	39
		歴史に学ぶ	42	767	707	1,474	37	2	39
		暮らしと環境	36	580	698	1,278	38	2	40
	健康管理	41	742	715	1,457	37	2	39	
	体力増進	41	696	737	1,433	37	2	39	
	実技	花と野菜づくり	22	434	465	899	38	2	40
		写真入門	32	479	646	1,125	37	2	39
		陶芸	17	224	482	706	37	2	39
		書道入門	21	217	524	741	37	2	39
小計		511	7,780	10,448	18,228	556	30	586	
委員会・諸会議			336	230	566	21	0	21	
短期講座	パソコン	MOSワード講座	12	38	73	111	10	0	10
		エクセル上級	12	17	45	62	6	0	6
		MOSエクセル講座	11	44	55	99	10	0	10
		デジカメ写真活用	22	60	87	147	8	0	8
		GIMPで写真編集	12	16	68	84	8	0	8
		タブレット入門	14	11	30	41	3	0	3
		ワードで作品作り	9	26	56	82	10	0	10
		ライオン入門	15	16	26	42	3	0	3
	インスタグラム入門	0	0	0	0	0	0	0	
	小計		107	228	440	668	58	0	58
	その他	コンテナガーデニング	17	8	53	61	4	0	4
		アロマセラピー	10	0	39	39	4	0	4
		水彩画入門	16	28	46	74	5	0	5
		年長者と孫の集い	23	7	16	23	0	1	1
		一日体験講座①	11	3	8	11	1	0	1
一日体験講座②		37	7	30	37	1	0	1	
小計		114	53	192	245	15	1	16	
カシニア	西南女学院	41	95	247	342	10	0	10	
	東筑紫	33	40	214	254	9	0	9	
	北九州市立①	13	33	11	44	5	0	5	
	北九州市立②	18	24	48	72	5	0	5	
小計		105	192	520	712	29	0	29	
研究クラブ	写真研究	29	322	203	525	20	0	20	
	写真研究	26	137	400	537	23	0	23	
	陶芸研究	22	298	379	677	35	0	35	
	花と野菜づくり研究	28	400	334	734	34	0	34	
	小計		105	1,157	1,316	2,473	112	0	112



コース名		在籍者数	利用者数（延べ）			研修回数		
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計
同好会	卓球		170	133	303	26	0	26
	詩吟		73	114	187	15	0	15
	風船バレー		218	193	411	28	0	28
	社交ダンス		46	99	145	14	0	14
	英会話		235	89	324	28	0	28
	バドミントン		189	95	284	26	0	26
小計			931	723	1,654	137	0	137
ボランティア	シルバーク		838	1,563	2,401	346	0	346
	登録V○園芸		395	448	843	37	0	37
	登録V○健康		323	265	588	65	0	65
	登録V○パソコン		88	52	140	59	0	59
	登録V○グリーンボランティア		152	129	281	30	0	30
小計（登録V○分）			958	894	1,852	191	0	191
同窓会（夢工房含む）			420	626	1,046	214	0	214
穴生学舎			37	28	65	4	0	4
その他の利用	視察・見学		42	42	84	3	0	3
	研修		265	269	534	31	0	31
	実習		9	53	62	4	0	4
	ボランティア		55	18	73	17	0	17
	その他		90	47	137	17	0	17
小計			461	429	890	72	0	72
総合計			13,391	17,409	30,800	1,755	31	1,786

#### （４）周望学舎年間行事等

##### ア 入学記念講演会

実施日	人員・会場	内容
H30. 4. 6	493人 北九州芸術劇場	「これからの人生をもっと豊かにいきいきと暮らすために」 NAP福岡センター 代表 馬場 邦彦 氏

##### イ スポーツ大会

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 22	503人 総合体育館	入場行進・競技「仲良しリレー」、「大玉おくり」、「炭坑節」等・閉会式

##### ウ 大学祭

実施日	人員・会場	内容
H30. 10. 7 (台風の為、 10. 6は中止)	研修生延べ 629人 一般来場者 41人 周望学舎	学習成果を生かした展示、体験コーナー、研修生によるディスコン大会、ウォークラリー、ペタンク大会、出店等・閉会式

##### エ 修学旅行

実施日	人員	内容
H30. 11. 8 ～ H30. 11. 16	研修生延べ 354人 山口・広島	3便に分かれ1泊2日で実施 岩国錦帯橋、広島原爆ドーム、平和記念公園、厳島神社等

オ 修了記念作品展（実技コース・研究クラブ）

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 6 ～ H31. 2. 20	548人 北九州芸術劇場 市民ギャラリー	陶芸、書道、写真 学習成果発表 合計 141 点展示

カ 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 14 ～ H31. 2. 20	46人 ウエルとばた 交流プラザ	周望学舎の書道入門コース・書道研究クラブ、穴生学舎絵画入門コースの作品 合計 69 点展示

キ 年長者と孫のつどい

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 2 ～ H30. 8. 3	23人 周望学舎	周望学舎シルバーバンクによる折り紙、お手玉、竹細工等の昔遊びを通じた異世代交流や手作り工作、紙芝居等 青少年ボランティアステーションの協力により高校生ボランティアも6人参加

ク シニアカレッジ（大学活用型校外授業）

実施日	人員・会場	内容
H30. 7. 27 ～ H30. 9. 28	41人 西南女学院大	「世代を超えたコミュニケーション」、「大丈夫ですか？あなたの食事バランス」、「音楽の力で心と身体を健康に」等、計10回（延べ342人）
H30. 9. 5 ～ H30. 11. 14	33人 東筑紫学園	「脳トレに挑戦」、「印象の演出」、「食品添加物について知ろう！」「元気に長生きするために」等、計10回（延べ254人）
① H30. 6. 2 ～ H30. 6. 30 ② H30. 10. 6 ～ H30. 11. 10	31人 北九州市立大	「健康セルフチェック」、「脳トレ」、「レクリエーション」等、計10回（延べ116人）

ケ 一日体験入学

実施日	人員・会場	内容
H30. 9. 8	11人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「学びからの実践～寄付・募金・ボランティア～」、「ヨガを通して健やかな毎日を」
H31. 1. 25	37人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「自然とのふれあい～身近な植物の名前～」、「毎日できるストレッチと転倒予防体操」

コ 大学との交流事業

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 28	39人 北九州市立大	学生との交流、講義「熱射病予防」 フォークダンス、卓球等

サ 視察・見学

実施日	人員	団体名
H30. 5. 22	56人	北九州市立南小倉小学校 3 年生
H30. 6. 26	23人	宗像市社会福祉協議会視察研修

シ 実習生受け入れ

実施日	人員	団体名
H30. 10. 12 H30. 10. 22 H30. 10. 26	55人	西日本看護専門学校

(5) 資料

資料名	発行部数	発行日
香梅(平成 30 年度年間コース修了記念アルバム)	490 部	H31. 2. 8

(6) 広報

資料名	発行部数	発行回数
研修生の手作り学舎新聞およびかわら版	2,000 部 1,200 部	新聞：1 回／年 かわら版：2 回／年
学舎案内	800 部	1 回／年

(7) コース委員長会議 (15 コース)

実施日	人員・会場	内容
H30. 4. 27	委員29人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正副代表選出について</li> <li>・ 自家用車通学と交通安全ボランティアについて</li> <li>・ 宿泊研修について</li> <li>・ 施設賠償責任保険契約及び傷害保険について</li> <li>・ 平成 30 年度周望学舎年間コース地域・ボランティア活動予定について</li> <li>・ 周望学舎三大行事日程について</li> </ul>
H30. 9. 11	委員23人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車マナーについて</li> <li>・ 平成 28 年度修了生に関する地域活動・ボランティア活動についてのアンケート結果について</li> <li>・ 周望学舎運営協力ボランティアグループについて</li> <li>・ 連絡事項 (1) 大学祭 (2) 修学旅行 (3) 後期授業料納付について (4) 自衛消防訓練について (5) 修了式の日程及び会場</li> </ul>
H31. 1. 28	委員22人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修了式について</li> <li>・ 平成 31 年度研修生募集について</li> <li>・ 修了記念作品展・合同作品展について</li> <li>・ 年間コース終了アルバム「香梅」について</li> <li>・ 年間コース終了・利用者アンケートについて</li> <li>・ 2 階宿泊室の活用について</li> </ul>

(8) 各種会議（三大行事等）（会場：周望学舎）

会議名	人員(延べ)	回数
大学祭実行委員会	研修生・研究クラブ生200人	5回
スポーツ大会実行委員会	研修生 110人	4回
修学旅行実行委員会	研修生 98人	4回
新聞編集委員会	研修生 61人	3回
作品展実行委員会	研修・クラブ生 23人	2回

(9) バスの運行

研修生送迎の他、全コースの校外授業においてスクールバスを活用し中型バスでの運行は1,106回、1,231時間の運行を行いました。

(10) 周望学舎同窓会

ア 会員数 717人

イ 支部活動

支部名				
門司支部	小倉北支部	小倉南支部	戸畑・若松支部	八幡支部
119人	218人	245人	72人	63人
<活動内容> ・会員相互の親睦(総会、日帰りバスハイク・新春初詣) ・売店活動(支部活動) ・支部総会(懇親会) ・健康づくり(歩こう会・ボーリング、グラウンドゴルフ大会) ・ボランティア活動・同窓会新聞の発行 等				

ウ 広報紙

	発行部数	発行回数
周望同窓会新聞「ふれあい」	800部/回	2回/年

(11) 周望学舎シルバーバンク

ア 会員数 17サークル  
 預託会員 167人  
 賛助会員 175人

イ 支部 門司・小倉北・小倉南・若戸・八幡

ウ サークル活動

	サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所と活動日
伝承グループ	創作折り紙	25	福祉施設、児童館、小学校等での伝承活動及び折り紙研究	周望学舎、福祉施設 折り紙A(研修日 毎月第2・4水曜日) 折り紙B(研修日 毎月第1・3水曜日)
	お手玉	8	お手玉の作り方、遊び方の伝承	福祉施設等 (研修日 毎月第1・3水曜日)
	竹の会	11	竹細工、竹トンボ、竹笛水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター、小学校イベント会場等 (研修日 隔週水曜日)

	読み聞かせ	6	福祉施設等で本の読み聞かせ・紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ（毎週木曜日）その他施設等
	昔遊び	6	コマ回し、皿回し等の昔遊びを伝承する	市民センター、小学校イベント会場等（不定期）
友愛グループ	椿会	1	福祉施設での生け花の指導・洗濯物の整理等	シルバーサンホーム（第2・4水曜日午後）
	マジック	1	福祉施設訪問マジック披露	福祉施設、イベント会場（不定期）
	ハーモニカ	15	福祉施設訪問・ハーモニカ演奏	福祉施設、イベント会場（研修日 第1・3木曜日）
	遊書会	2	福祉施設に於いて習字指導	北九州シティホーム（毎月第3木曜日）
	シルバーサービス	2	在宅高齢者宅での簡易修理、草刈	各地域（不定期）
	すみれ会	7	福祉施設訪問フラダンス実演	イベント会場、施設等（研修日 毎週月曜日）
	周 和 会	10	福祉施設訪問日本舞踊実演	イベント会場、施設等（研修日 毎週金曜日）
	子育て支援	13	昔遊び伝承託児スタッフ	市民センター、イベント会場等（不定期）
	ひまわりの会	24	福祉施設での介護・雑事支援	福祉施設等
その他	オレンジの会	4	認知症及びその家族支援・介護予防等支援補助活動	市総合保健福祉センターアシスト21カフェ・オレンジ
	バラの会	17	趣味の手芸で相互の親睦（作品はイベントに提供）	周望学舎（第2・4金曜日）
	収集	18	主にプルタブ及び古紙の収集活動	周望学舎
	編集	9	会報紙（バンクだより）の編集、発行（年1回）	周望学舎、イベント会場（不定期）

※各サークル重複在籍者あり。

#### エ サークル活動・活動人員

(ア) 友愛・ふれあい活動	延べ	1,892人
(イ) 調査研究活動	延べ	241人
(ウ) ボランティア養成研修	延べ	1,410人
(エ) 伝承活動	延べ	217人
(オ) その他の活動	延べ	49人

#### オ 預託会員研修

実施日	会場	内容
H31. 3. 11	周望学舎 安川電機	講義「健康長寿」を合言葉に高齢者が主役になるまちづくり～北九州市の高齢社会対策について～ 安川電機みらい館等見学

#### カ 広報

資料名	発行部数	発行回数
会報紙「シルバーバンクだより」	1,119部	1回/年

(12) 研究クラブ、同好会活動

ア 会員数 研究クラブ 4クラブ 105人  
同好会 6サークル 104人

イ 研究クラブ・同好会活動

区分	グループ名	活動の内容	活動場所	活動日
研究クラブ	写真	実技コースで学んだ技術を更にレベルアップする活動	周望学舎	隔週火曜日
	書道			隔週月曜日
	陶芸			隔週木曜日
	花と野菜づくり			隔週水曜日
同好会	周望卓球同好会	卓球	周望学舎	概ね毎週金曜日
	周望詩吟同好会	詩吟		第1,3水曜日
	風船バレー同好会	ふうせんバレー		概ね毎週水曜日
	社交ダンス周望会	社交ダンス		概ね毎週木曜日
	英会話同好会	英会話		概ね毎週月曜日
	バドミントン同好会	バドミントン		概ね毎週火曜日

2 穴生学舎・穴生ドーム事業

穴生学舎は、高齢者の生きがい対策の一環として増大かつ多様化する高齢者のニーズに応えるため、「周望学舎」に続き平成6年9月に福祉と生涯学習の拠点として設置されました。

穴生学舎では、高齢者の「いきがい・健康・ふれあい」づくりと地域活動の推進役としての力量を高めるため、健康や福祉に関わる幅広い研修や事業を実施し、一部のコースでは、災害ボランティアに関する講座を実施しました。

地域活動情報支援センターでは、学舎で学んだ成果を地域社会で活かせるよう、様々な情報を提供すると共に、OB会や研究クラブ等の自主活動を支援するなど、社会における役割意識の高揚に努めました。

穴生ドームでは、健康志向の高い高齢者をはじめ一般市民を対象に、ニュースポーツの出前講座や健康ウォーキング事業など、さまざまな自主事業を実施し、健康・体力づくりの支援に努めました。

[穴生学舎]

(1) 応募状況の推移

区分		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
新人	男	46	55	35	30	31
	女	64	57	49	60	37
	計	110	112	84	90	68
経験者	男	160	164	177	174	180
	女	185	208	181	177	193
	計	345	372	358	351	373
合計		455	484	442	441	441

※平成21年度から市社協が第2期「指定管理者」となり管理運営を受託。

※平成26年度から市社協と里山を考える会の共同事業体が第3期「指定管理者」となり管理運営を受託。穴生学舎については、市社協が管理運営を担当。

## (2) 研修生の推移 (年間コース・研究クラブ・同好会)

分類		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
年間 コース	コース数	15	15	15	15	15
	研修生数(延べ)	15,344	14,984	15,381	15,321	16,458
研究 クラブ	グループ数	5	6	7	7	7
	利用者数(延べ)	1,548	1,767	2,529	2,653	2,600
同好会	グループ数	1	0	0	0	0
	利用者数(延べ)	822	0	0	0	0

## (3) 研修実施状況

コース名		在籍 者数	利用者数(延べ)			研修回数			
			男	女	計	宿泊	日帰り	計	
年間 コース	地域ふれあい	14	321	223	544	1	40	41	
	健康づくりサポーター	34	576	706	1,282	1	40	41	
	心と身体の健康	34	625	619	1,244	1	40	41	
	歴史に学ぶ	32	652	574	1,226	1	40	41	
	アジアを学ぶ	28	583	495	1,058	1	40	41	
	文化伝承	28	449	531	980	1	40	41	
	国際情報	36	611	702	1,313	1	40	41	
	健康管理	34	690	512	1,202	1	40	41	
	生活情報	34	427	837	1,264	1	40	41	
	健康スポーツ	35	580	646	1,226	1	40	41	
	郷土のなりたち	34	618	650	1,268	1	40	41	
	実用書道	27	361	683	1,044	1	41	42	
	絵画入門	24	573	333	906	1	40	41	
	英会話	25	381	574	955	1	40	41	
	写真入門	25	544	402	946	1	41	42	
	小計	444	7,971	8,487	16,458	15	602	617	
短期 講座	パソコン系講座	151	563	439	1,002	0	64	64	
	自主講座	175	155	94	249	0	9	9	
	公開講座	76	47	29	76	0	1	1	
	一日体験講座	26	9	17	26	0	2	2	
	シニアサマーカレッジ	55	298	180	478	0	10	10	
	シニアカレッジ	60	359	144	503	0	10	10	
		小計	543	1,431	903	2,334	0	96	96
研究 クラブ	書道	16	254	286	540	0	45	45	
	写真	写楽会	12	134	77	211	0	23	23
		写遊会	14	190	71	261	0	23	23
	絵画	絵画 28	12	254	129	383	0	44	44
		絵画 BG	18	247	242	489	0	39	39
	英会話	英研 28 会	12	122	152	274	0	41	41
		英研 29 会	13	186	256	442	0	41	41
	小計	97	1,387	1,213	2,600	0	256	256	
	ボランティア活動	-	-	-	3,803	0	563	563	
	その他の活動	-	-	-	9,667	0	393	393	
	合計	1,084	10,786	10,603	34,862	15	1,910	1,925	

(4) 年間行事等

ア 入学式記念講演会

実施日	人員・会場	内容
H30. 4. 6	318 人 北九州芸術劇場	テーマ：「これからの人生をもっと豊かにいきいきと暮らすために」 講 師：NAP福岡センター 代表 馬場 邦彦 氏

イ 第 25 回ふれあいスポーツ大会

実施日	人員・会場	内容
H30. 6. 16	688 人 穴生ドーム	パン食い競走、大玉転がし、玉入れ等の紅白チーム対抗戦 他

ウ 第 24 回穴生学舎大学祭&ドームフェスタ

実施日	人員・会場	内容
H30. 10. 20 ～ H30. 10. 21	6,556 人 穴生学舎 穴生ドーム	平成 19 年度から大学祭とドームフェスタを同時開催。 学舎研修生による学習成果発表と地域・世代間交流を目的に、幼児から高齢者までが楽しめる各種ふれあい催事コーナーを実施。

エ 修学旅行

実施日	人員	内容
H30. 11. 21 ～ H30. 11. 30	研修生 270 人	3 便に分かれ 1 泊 2 日で実施 熊本県菊池市他 (菊水の里、熊本城、千代の園酒造・八千代座、阿蘇ファームランド、阿蘇大観望、日田夜明けの里、朝倉三連水車、藤井養蜂園 等)

オ 公開講座

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 2	76 人 穴生学舎	テーマ：幕末激動動乱・苦悩の連続藩主黒田長溥公 講 師：史学博士 廣崎 篤夫 氏

カ ロビーコンサート

実施日	人員	内容
H30. 4. 24	70 人	サウンド幸の音による箏の演奏
H30. 8. 29	64 人	音楽ユニット縁音による歌とピアノの演奏
H30. 12. 3	60 人	リコーダーアンサンブルパレットによる演奏
H31. 2. 21	66 人	大正琴の演奏

キ まちの保健室

実施回数	人員	内容
9 回	130 人	血圧測定、酸素飽和度測定、健康相談 等



ク 修了記念作品展

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 4 ～ H31. 2. 10	545 人 黒崎市民ギャラリー	実用書道・絵画入門・写真入門コースの学習成果の発表 出点数 計 160 点

ケ 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	人員・会場	内容
H31. 2. 14 ～ H31. 2. 20	26 人 ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎の書道入門コース・書道研究クラブ、穴生学舎絵画入門コースの学習成果の発表 出点数 計 26 点

コ 地域、世代間交流・子育て支援事業

会場	人員	内容
こじか幼稚園 萩原小学校	10 人	・文化伝承ボランティアによるこじか幼稚園児、萩原小学校児童への昔遊びの指導 10 人
穴生学舎	51 人	・文化伝承コース研修生による昔遊びやレクリエーションを通じての世代間交流 26 人 緑ヶ丘第二幼稚園児等 25 人
穴生ドーム	6,291 人	・ドームフェスタ及び大学祭における文化伝承ボランティアや研修生による昔遊び、ゲーム、キッズコーナーの実施 ドームフェスタ 2,718 人 大学祭（研修コース催事） 3,573 人

サ 校外授業「シニアサマーカレッジ・シニアカレッジ」

実施回数	会場	入学者数	参加人員(延べ)	内容
10 回	九州共立大学	55 人	478 人	・心も身体も生き生きレクリエーション ・校外研修 等
10 回	九州国際大学	60 人	503 人	・イノシシ年はブタ年？—漢字で起こる勘違い ・組織の中での行動選択～グローバル化の中で心を満たして生きるために～ 等

シ 一日体験講座

実施日	人員・会場	内容
H30. 12. 15	11 人 穴生学舎	① テーマ：くきのうみの移り変わりと地域の発展 講師：旧古河鉱業若松ビル 館長 若宮 幸一 氏 ② テーマ：ニュースポーツ(シャフルボード) 講師：穴生ドーム 体育指導員

H31. 1. 19	15人 穴生学舎	① テーマ：八幡の地名と歴史 講師：岡田宮 宮司 波多野 直之 氏 ② テーマ：ニュースポーツ(囲碁ボール) 講師：穴生ドーム 体育指導員
------------	-------------	--

ス 広報紙の発行

名称	発行部数(1回)	発行回数
穴生学舎新聞	2,000部	・A4版8ページ1回発行
穴生学舎かわら版	2,000部	・A4版4ページ2回発行

セ 資料の発行

資料名	発行部数	発行日
学舎案内	700部	平成30年4月6日
入学案内	6,600部	平成31年1月15日
薫風(穴生学舎修了記念文集)	477部	平成31年2月12日

ソ 地域開放事業

部屋名等	使用回数	使用人員	備考
図書の貸し出し	開館日数 172日 貸出冊数 836冊	貸出人数 570人 図書館利用者 3,673人	・研修生及び一般市民
大会議室	44回	2,067人	・各種委員会 ・八幡西区老人クラブ連合会 ・国際車いすテニストーナメント 等
AB会議室	73回	1,734人	・穴生ドーム抽選会 ・八幡西区役所保健福祉課 等
研修室	28回	1,182人	・大学祭学習成果発表準備 ・八幡西区役所保健福祉課 等
調理室	15回	442人	・周望学舎の年間コース 等
和室	2回	13人	・文化伝承コース 布草履づくり準備 ・相談援助実習
ボランティア交流サロン	39回	362人	・夢追塾同窓会 等
その他	21回	269人	・読みかたりの会 ・朗読の会
計	394回	9,742人	

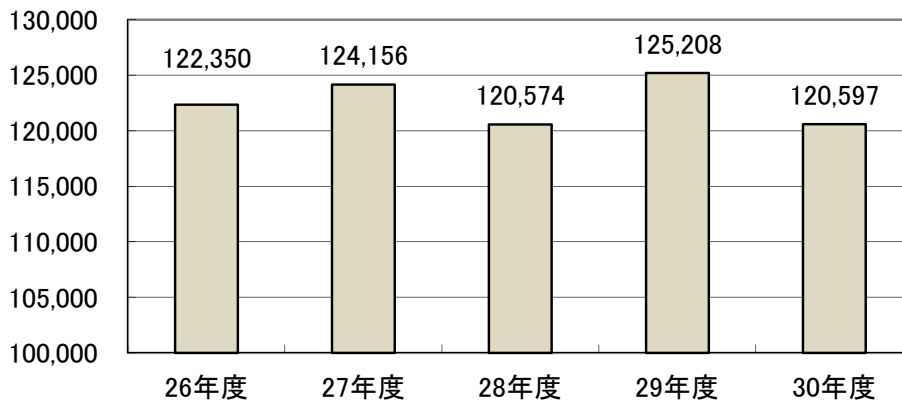
タ 各種会議

会議名	回数	人員(延べ)	備考
コース委員長会議	3回	70人	—
スポーツ大会実行委員会	5回	125人	—
大学祭実行委員会	5回	135人	—
修学旅行実行委員会	5回	126人	—
新聞編集委員会	6回	87人	—
ボランティア・研究クラブ連絡会議	4回	94人	行事に関する事務連絡

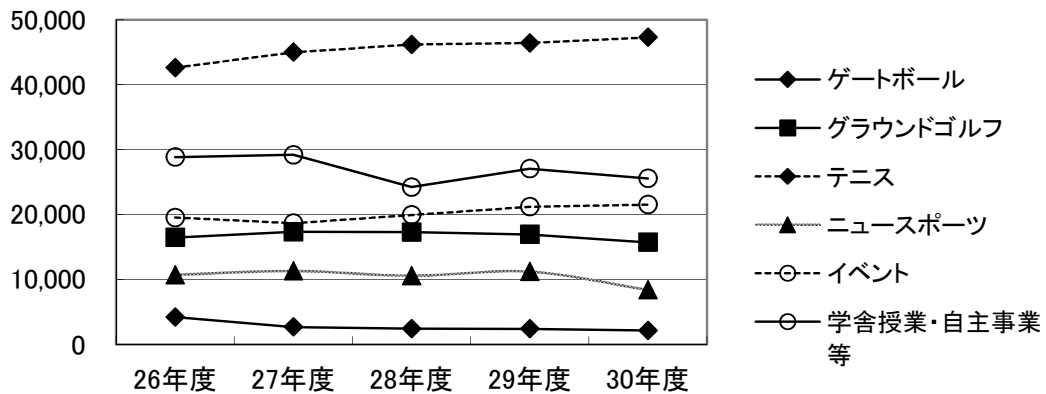
ボランティアグループ連絡協議会	2回	40人	ボランティアグループ相互の意見交換
ボランティアグループ連絡協議会役員会	3回	25人	—
研究クラブ連絡会議	1回	8人	研究クラブ相互の意見交換

[穴生ドーム]

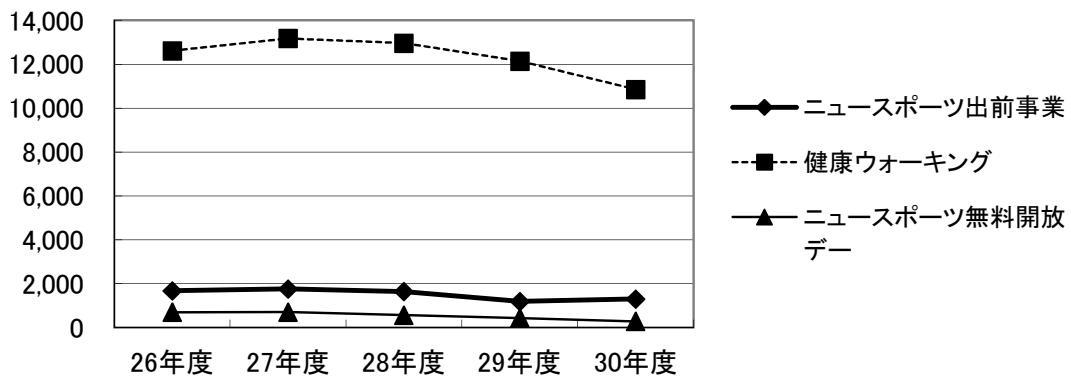
(1) 穴生ドーム年間利用者の推移



(2) 穴生ドーム目的別利用者の推移



(3) 穴生ドーム自主事業参加者の推移



区分		年間利用人員(人)	1日平均(人)	比率(%)
早朝利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	2,589	7	27.2
	テニス	5,738	16	60.4
	ニュースポーツ	1,176	3	12.4
個人利用	ゲートボール	0	0	0.0
	グラウンドゴルフ	1,082	3	6.0
	テニス	17,054	48	93.9
	ニュースポーツ	27	0	0.1
専用利用	ゲートボール	2,122	6	3.2
	グラウンドゴルフ	12,048	34	17.9
	テニス	24,480	69	36.3
	ニュースポーツ	7,180	20	10.7
	その他	21,531	61	32.0
周望・穴生学舎体育授業		3,193	9	2.6
会議室・観覧席・その他の利用		543	2	0.5
自主事業		10,374	29	8.6
屋外コート		606	2	0.5
ウォーキング		10,854	31	9.0
合計		120,597	340	100.0
開館日数		355		

\*種目別利用者人員

項目	年間利用人員(人)	一日平均(人)	比率(%)
ゲートボール	2,122	6.0	1.8
グラウンドゴルフ	15,719	44.3	13.0
テニス	47,272	133.2	39.2
ニュースポーツ	8,383	23.6	7.0
イベント	21,531	60.7	17.9
屋外・体育授業・その他	25,570	72.0	21.2

(5) 穴生ドームテニス教室（初級）

回数	人員	内容
10	220 人	ラケットに慣れる、ボールのバウンドに慣れる、フットワークを覚える、打点の位置を覚える等

(6) 穴生ドームテニス教室（中級）

回数	人員	内容
6	192 人	ゲームの流れ、マナーについて、ゲームの動き、ダブルスで試合を行う

(7) 穴生ドーム高齢者の健康づくり事業

ア 穴生ドーム主催イベント及び大会

回数	人員	内容
4	8,185 人	穴生ドーム杯グラウンドゴルフ交歓大会、ビーチボール交歓大会、テニス交歓大会、穴生ドームフェスタ

イ ニュースポーツの振興に伴う高齢者のスポーツ大会

回数	人員	内容
2	382 人	第 34・35 回クラブ間交流スポーツ大会

ウ 郊外ウォーキング

回数	人員	内容
1	16 人	二島駅からグリーンパークまでをウォーキング

エ ニュースポーツ出前体験

回数	人員	内容
64	1,305 人	出前講演方式によりニュースポーツを体験していただき、健康づくりを勧める。

オ 健康ウォーキング

回数	人員	内容
329	10,854 人	ドームの 2 階通路を無料開放し、安全かつ自分のペースで気軽に取り組める運動であるウォーキングを行う機会を提供。生活習慣病の予防に取り組んでいただく。

カ ニュースポーツ無料開放デー

回数	人員	内容
12	285 人	ドームを無料開放し、市民の方々に気軽に身体を動かせる機会を提供し、ニュースポーツの体験を通じて、健康・体力づくりや多世代間交流・仲間づくりに取り組む。

### 3 地域活動情報支援センター

#### (1) ボランティアグループ活動報告

	周望				穴生			
	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数
4月	179	97	82	22	444	121	323	124
5月	175	96	79	26	432	121	311	134
6月	196	109	87	26	607	215	392	155
7月	152	75	77	22	536	172	364	155
8月	131	76	55	22	466	164	302	140
9月	179	90	89	19	546	185	361	153
10月	180	89	91	24	599	195	404	155
11月	201	111	90	25	529	186	343	147
12月	164	78	86	20	557	179	378	155
1月	142	78	64	20	451	148	303	133
2月	240	136	104	26	504	170	334	150
3月	40	25	15	2	393	152	241	125
年間合計	1,979	1,060	919	254	6,064	2,008	4,056	1,726

#### (2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数		備考
	周望	穴生	
ボランティア活動体験受け入れ先に関すること	53	4	北九州シティホーム、シルバーサンホーム、パレス三萩野等
関係機関との相談・依頼	14	6	市ボランティア・市民活動センター、各区ボランティア・市民活動センター
外部施設・団体からのボランティア相談	12	2	市民センター、学童保育クラブ、まちづくり協議会、子どもの館
ボランティアグループへの活動依頼	25	38	市内高齢者施設、病院等
ボランティアグループからの活動相談	35	20	助成金、体験教室、会員募集
ボランティアグループ以外からの依頼	11	8	クラブのボランティア活動の日程調整等
研修生・修了生・OB会からの相談	47	7	グループ入会、活動先の相談
一般の方からの相談	0	9	ボランティアグループの相談、見学
ボランティア活動や打ち合わせに同行	32	1	ボランティア活動体験、ボランティア活動への同行・引率・当日調整・現状把握
その他	12	13	研修コース講義、コーディネーター会議出席、クラブ・ボランティア合同会議
合計件数	241	108	

(3) 年間行事等

ア シニアと孫の夏休み in 穴生学舎

実施日	人員	内容
H30. 8. 8	14組・30人 穴生学舎	クッキング (昼食作り)、ニュースポーツ

イ 楽しいマジック入門講座

実施回数	会場	受講者数	参加人員 (延べ)	内容
2回	穴生学舎	13人	25人	・皿回し ・ロープマジック 等

ウ 穴生学舎ボランティアグループふれあい交流会

実施日	人員	内容
H30. 10. 24	116人 穴生学舎	①講演 テーマ：わが郷里の歴史 神社と黒崎祇園山笠 講師：一宮神社 宮司 波多野 正信 氏 ②懇親会

## ◇常設委員会

1 生活福祉資金調査委員会：申請0件のため開催なし

### 2 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内容
H29. 12. 21	9人 ウェルとばた	1 委員長の選任について 2 平成28年度事業報告 3 平成30年度事業計画(案)

### 3 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内容
H30. 5. 25	24人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員紹介</li> <li>・正副委員長の選任について</li> <li>・平成30年度運営委員会の取り組みについて</li> <li>・平成29年度ボランティア・市民活動センター事業報告について</li> <li>・平成30年度地域福祉活動支援事業について</li> <li>・その他(事務局からの情報提供)</li> <li>市・区社会福祉協議会法人一元化への取り組みについて</li> </ul>
H30. 12. 21	19人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度地域福祉活動支援事業について</li> <li>・当センターにおける今年度の主要事業について</li> <li>・平成31年度ボランティア・市民活動センター事業計画(案)について</li> <li>・次期北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター運営委員会について</li> </ul>

### 4 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 29	14人 穴生学舎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 正副委員長の選任について</li> <li>2 年長者研修大学校等の現況</li> <li>3 平成30年度の取り組み状況</li> <li>4 次期指定管理に向けて</li> <li>5 その他</li> </ol>
H31. 2. 7	17人 ウェルとばた	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成31年度の取り組みについて</li> <li>2 指定管理者の応募について</li> <li>3 平成31年度年長者研修大学校研修生募集案内について</li> <li>4 その他</li> </ol>



## 5 総合企画委員会

回	実施日	人員・会場	内容
第1回	H30. 7. 24	18人 ウエルとばた	1 平成30年度総合企画委員会の取り組みについて 2 北九州市地域福祉活動第五次計画に基づく平成29年度(二年次)事業の点検・評価について
第2回	H31. 1. 16	16人 ウエルとばた	1 北九州市地域福祉活動第五次計画における4年次の取り組み(案)について 2 次年度総合企画委員会の会務運営について

## 6 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内容
H30. 4. 11	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人後見事業 受任検討について</li> <li>地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>平成30年度会計監査について</li> </ul>
H30. 5. 16	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度 事業実施状況について</li> <li>法人後見事業 受任検討について</li> <li>地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>平成30年度会計監査について</li> </ul>
H30. 6. 20	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人後見事業 受任検討について</li> <li>地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>地域福祉権利擁護事業 契約終了検討について</li> <li>法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>地域福祉権利擁護事業の待機について</li> <li>運用委員会費用弁償の口座振込について</li> <li>平成30年度会計監査について</li> </ul>
H30. 7. 18	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度会計監査について</li> <li>法人後見事業 受任検討について</li> <li>地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>運用委員会の日程変更について</li> </ul>
H30. 8. 22	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>北九州市社会貢献型「市民後見人養成事業」～市民後見人を目指す人のための講演会～について</li> <li>平成30年度 北九州市社会福祉大会について</li> <li>法人後見事業 受任検討について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 事業監査について</li> <li>・運用委員会の日程変更について</li> </ul>
H30. 9. 12	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業 受任検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 契約終了検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 利用料の改定について</li> <li>・成年後見制度普及啓発事業について（平成31年度新規事業）</li> </ul>
H30. 10. 17	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度上半期（4月～9月）事業実施状況について</li> <li>・法人後見事業 受任検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>・権利擁護・市民後見センター支援員任用年齢の引上げについて</li> </ul>
H30. 11. 21	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市社会貢献型「市民後見人養成事業」～市民後見人を目指す人のための講演会～について</li> <li>・法人後見事業 受任検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> </ul>
H31. 1. 16	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業 受任検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>・任期満了に伴う次期委員の推薦について</li> <li>・平成31年度 運用委員会日程について</li> </ul>
H31. 3. 27	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 市民後見人養成事業 フォローアップ研修会について</li> <li>・平成30年度 事業監査について～地域福祉権利擁護事業契約継続判定資料の分析・報告結果～</li> <li>・成年後見制度リーフレットについて</li> <li>・法人後見事業 受任検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について</li> <li>・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について</li> <li>・平成31年度 会議日程について</li> </ul>

計 10 回	法人後見受任審査人数 5 人 内訳 ・認知症高齢者 2 人（後見 2 人、保佐 0 人、補助 0 人） ・知的障害者 3 人（後見 2 人、保佐 1 人、補助 0 人） ・精神障害者 0 人（後見 0 人、保佐 0 人、補助 0 人）
--------	---

## 7 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内容
H30. 8. 6	6 人 ウエルとばた	1 平成 30 年度北九州市社会福祉大会記念式典について 2 被表彰候補者の審査・答申について